

建築教育ニュース

2016.11

東日本建築教育研究会

目 次

| | | |
|-------------------------|--------------------------|----|
| 1. 会長挨拶 | 会長 三神 幸男 | 1 |
| 2. 平成27年度事業及び会計（決算）報告 | 事務局 | 2 |
| 3. 平成28年度事業計画・会計（予算）報告 | 事務局 | 3 |
| 4. 平成28年度役員一覧 | 事務局 | 4 |
| 5. 平成28年度総会・研究協議会報告 | 千葉大会事務局 遠藤 啓史（市川工） | 6 |
| 6. 平成28年度夏期研究協議会報告 | 製図分科会 坂本 真生（島田工） | 8 |
| 7. 製図分科会 活動報告 | 主査 吉城 守（春日部工） | 10 |
| 8. 計画分科会 活動報告 | 主査 江原 聖直（川越工） | 12 |
| 9. 法規分科会 活動報告 | 主査 根岸 俊行（館林商工） | 14 |
| 10. 構造分科会 活動報告 | 主査 青柳 昭（市川工） | 16 |
| 11. 施工分科会 活動報告 | 主査 林 祐介（京葉工） | 18 |
| 12. 製図コンクール運営委員会 審査結果報告 | 委員長 卜部 寿々子（京葉工） | 20 |
| 13. 資格取得推進委員会 活動報告 | 委員長 石井 直樹（前橋工） | 26 |
| 14. 宮城県の建築教育の現状 | 理事 五十嵐昭博（仙台工） | 27 |
| 15. 埼玉県の建築教育の現状 | 理事 佐藤 剛（春日部工） | 29 |
| 16. 東京都の建築教育の現状 | 理事 米川 誠次（蔵前工） | 31 |
| 17. 愛知県の建築教育の現状 | 理事 稲生 浩次（碧南工） | 35 |
| 18. 事務局報告 | 事務局長 鈴木 健（墨田工） | 38 |
| 19. 編集後記 | | 40 |

■東日本建築教育研究会ホームページ

<http://www.hnkkk.org/>

1. 会長挨拶



東京都立墨田工業高等学校
校長 三神 幸男

平成28年度、第66回東日本建築教育研究会千葉大会が、8月4日、5日の両日にわたって、大会実行委員長の千葉県立市川工業高等学校長 藤平秀幸先生をはじめ、関係者の皆様のご尽力により、盛大に開催されました。私は、その総会において、会長としてご承認いただきました。大変な重責ではありますが、新役員の皆様とともに、本研究会の充実・発展に取り組む所存ですので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

また、前会長の小林晶代先生におかれましては、これまで、本研究会にご尽力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

さて、この度の千葉大会では、総会に引き続き、「グローバル社会における建築教育」をテーマとする研究協議、講演、研究視察などが円滑に行われ、多彩で、充実した内容となりましたことを、ご報告申し上げます。さらに、ご多用のところ、文部科学省、国土交通省、厚生労働省、千葉県教育委員会、公益社団法人全国工業高等学校長協会、千葉県建設業協会、西日本工高建築連盟の方々にご来賓として、ご臨席を賜りました。誠にありがとうございました。

東京では、4年後の東京オリンピック・パラリンピックを控え、新国立競技場の建築問題、築地市場の豊洲への移転問題等々、良くも悪くも大規模建造物に関するニュースが、注目を集めています。また、私たちが住まう建築物としては、10年ほど前のマンションの耐震強度偽装事件や、これはお隣の神奈川県でのことですが、大規模マンションで杭打ちの不正が発覚した事件など、解決の難しい案件が次々に明るみに出ている状況です。前者は公共施設であり、後者は、私たちの暮らしの場であるという違いはありますが、いずれも莫大な税金や、個人がこつこつと蓄えた大金を投じてつくられる物件であり、人々が強い関心を抱くのも当然のことです。

いま、わが国の建築業界は、かつてない大きな岐路に立たされているのではないのでしょうか。すなわち、千葉大会のテーマでもある「グローバル化」と、過疎の地や、住宅密集地に暮らす人々、一人一人の生活のせめぎあいです。「ものづくり」の情熱がぶつかりあって、様々な、時には深刻な問題が生じる。しかし、「ものづくり」の問題は「ものづくり」の知恵と技術で解決してゆかなければならない。そこには、困難もあるけれど、私は、大きな夢と人々の笑顔があるという視座で、生徒を教え導いてゆきたい。建築は、真っ白な図面から始まります。そこに、つくる側の夢を描き、またその先には、世界の人々の笑顔がある。日々、生徒相手に奮闘している会員の先生方にも、「こんな仕事なんだよ。腰を据えてやってみようじゃないか。」と、自信をもって生徒に語り掛けられる「せんせい」であってほしい。

建築教育が今後どのように変革されるのか、私自身も皆様とともに勉強しながら、行政や企業、大学をはじめとする教育機関と適切に連携し、生徒のよりよい教育環境を整備しなければならないと痛感しています。その中で本研究会が果たす役割は重要です。皆様の指導力がより一層向上することで、建築を学ぶ生徒の未来が大きく拓けることを期待し、挨拶といたします。

2. 平成27年度 事業報告

1. 総会・研究協議会

期 日 : 平成27年7月30日(木)～7月31日(金)
開 場 : 東京第一ホテル鶴岡
山形県鶴岡市錦町2番10号
TEL 0235-24-7611

- 1) 開会式
- 2) 総 会
- 3) 講演: 文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官
- 4) 研究協議会Ⅰ(分科会)
- 5) 教育懇談会
- 6) 研究協議会Ⅱ(研究発表等)
- 7) 講 評
- 8) 閉会式
- 9) 研究視察

2. 夏期研究協議会(施工分科会主催)

内 容 「規矩術と木材加工」
期 日 平成27年8月6日(木)～8月7日(金)
会 場 千葉職業能力開発短期大学校
担 当 施工分科会主査 林 祐介(千葉県立京葉工業高等学校)

3. 理事会・主査会・委員会等の開催

会の構成

- 1) 理 事 会 役員・都道府県理事で総会開催日に年1回開催
- 2) 常任理事会 役員・常任理事で年2回開催
- 3) 主 査 会 役員のうち、会長・副会長・主査・委員長・事務局長・会計で年6回開催
- 4) 各種委員会 分科会・委員会の長の召集により開催
- 5) 刊 行 物
 - (ア) 建築教育ニュース2015年号(400部、11月発行)
 - (イ) 会員名簿(300部、7月発行)
 - (ウ) 参考書(基礎問題集・構造図集・法規学習ノート、共に実教出版発行)

4. コンクール・作品展示等

- 1) 第34回高校生建築製図コンクール
 - (ア) 募集期間 平成27年11月5日(木)～11月11日(水)
 - (イ) 応募校数 53校

5. 平成27年度生徒表彰

申込み校 119校

6. その他 関係諸団体との連絡調整

3. 平成28年度 事業計画

1. 総会・研究協議会

期 日 : 平成28年8月4日(木)~8月5日(金)
開 場 : ホテルグリーンタワー幕張
千葉県美浜区ひび野2丁目10番3号
TEL043-296-1122

- 1) 開会式
- 2) 総 会
- 3) 研究協議会Ⅰ (分科会)
- 4) 教育懇談会
- 5) 研究協議会Ⅱ (研究発表等)
- 6) 講 評
- 7) 閉会式
- 8) 研究視察

2. 夏期研究協議会 (製図分科会主催)

内 容 「建物探訪(上野フィールドワーク)」
期 日 平成28年7月28日(木)~7月29日(金)
会 場 国立西洋美術館他
担 当 製図分科会主査 吉城 守 (埼玉県立春日部工業高等学校)

3. 理事会・主査会・委員会等の開催

会の構成

- 1) 理 事 会 役員・都道府県理事で総会開催日に年1回開催
- 2) 常任理事会 役員・常任理事で年2回開催
- 3) 主 査 会 役員のうち、会長・副会長・主査・委員長・事務局長・会計で年6回開催
- 4) 各種委員会 分科会・委員会の長の召集により開催
- 5) 刊 行 物
(ア) 建築教育ニュース2016年号(400部、12月送付)
(イ) 会員名簿(300部、8月発行)
(ウ) 参考書(基礎問題集・構造図集・法規学習ノート、共に実教出版発行)

4. コンクール・作品展示等

- 1) 第35回高校生建築製図コンクール
募集期間 平成28年11月7日(月)~11月11日(金)

5. 平成28年度生徒表彰

- ①表彰申請(様式1) 締め切り 平成29年 1月末(記名なし)
- ②発送予定 平成29年 2月上旬
- ③表彰報告(様式2) 締め切り 平成29年 3月末(記名あり)

6. その他 関係諸団体との連絡調整

4. 平成28年度 役員名簿

1. 会 長 三 神 幸 男 東京都立墨田工業高等学校 (校長)

2. 副 会 長 藤 平 秀 幸 千葉県立市川工業高等学校 (校長)
石 原 正 道 名古屋市立工芸高等学校 (校長)
小 島 聡 千葉県立市川工業高等学校 定時制
米 原 良 慈 東京都立総合工科高等学校

3. 事 務 局 長 鈴 木 健 東京都立墨田工業高等学校

4. 会 計 笹 崎 ひろみ 東京都立墨田工業高等学校

5. 常 任 理 事 [※会長・副会長・主査・委員長・事務局長・会計は兼任]

| | |
|------------------------|---------------------|
| 友 成 克 宏 (北海道ブロック・函館工) | 成 田 仲 生 (東京・総合工科) |
| 笹 原 俊 樹 (東北ブロック・十和田工) | 大 鷲 徹 (東京・総合工科定) |
| 葛 井 保 秀 (北信越ブロック・高岡工芸) | 白 井 尚 美 (東京・墨田工定) |
| 五十嵐 信 彦 (東海ブロック・伊豆総合) | 秋 谷 悟 (東京・葛西工) |
| 佐 藤 剛 (関東ブロック・春日部工) | 伊 藤 和 生 (東京・田無工) |
| 三野輪 雄 大 (埼玉・大宮工) | 米 川 誠 次 (東京・蔵前工) |
| 黒 崎 利 之 (栃木・宇都宮工) | 高 橋 康 代 (東京・蔵前工定) |
| 黒 澤 昇 (群馬・高崎工) | 高 野 秀 章 (東京・日工大駒場) |
| 山 西 保 久 (山梨・甲府工) | 村 上 高 俊 (東京・昭和第一学園) |
| 大 西 堅 司 (神奈川・神奈川工) | 生 田 目 淳 子 (茨城・下館工) |
| 千 葉 一 雄 (東京・東工大付科技) | 遠 藤 啓 史 (大会事務局・市川工) |
| 神 野 義 久 (次回大会事務局・半田工) | |

6. 都 道 県 理 事

| | |
|----------------------|----------------------|
| 北海道 友 成 克 宏 (函館工) | 岩 手 外 里 昌 治 (盛岡工) |
| 青 森 笹 原 俊 樹 (十和田工) | 秋 田 坂 本 敦 (由利工) |
| 宮 城 五十嵐 昭 博 (仙台北) | 福 島 長 谷 沼 徹 (郡山北工) |
| 山 形 柴 田 和 彦 (鶴岡工) | 群 馬 黒 澤 昇 (高崎工) |
| 栃 木 黒 崎 利 之 (宇都宮工) | 茨 城 生 田 目 淳 子 (下館工) |
| 埼 玉 佐 藤 剛 (春日部工) | 東 京 米 川 誠 次 (蔵前工) |
| 東 京 成 田 仲 生 (総合工科) | 千 葉 遠 藤 啓 史 (市川工) |
| 神 奈 川 大 西 堅 司 (神奈川工) | 山 梨 山 西 保 久 (甲府工) |
| 新 潟 中 村 和 史 (新津工) | 長 野 川 俣 晃 (長野工) |
| 富 山 葛 井 保 秀 (高岡工芸) | 石 川 中 田 智 晴 (金沢市立工業) |
| 福 井 橋 本 和 之 (敦賀工) | 静 岡 五十嵐 信 彦 (伊豆総合) |
| 愛 知 稻 生 浩 次 (碧南工) | 岐 阜 田 口 浩 三 (中津川工) |

7. 会 計 監 査 鈴 木 邦 夫 東京都立蔵前工業高等学校
佐 藤 剛 神奈川県立神奈川工業高等学校

8. 分 科 会 委 員

1) 製 図 分 科 会 : 主 査 吉 城 守 (春日部工)

| | | |
|------------------|---------------|------------------|
| ☆ 國 島 かほり (神奈川工) | 小 島 聡 (市川工定) | 笹 崎 ひろみ (墨田工) |
| 村 井 和 幸 (上越総合) | 中 曾 根 康 (高崎工) | 谷 内 昭 彦 (金沢市立工業) |
| 武 藤 香 織 (神奈川工) | | |

2) 計 画 分 科 会 : 主 査 江 原 聖 直 (川越工)

| | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| ☆ 田 中 和 夫 (田無工) | 三 野 輪 雄 大 (大宮工) | 岩 上 成 輝 (川崎総合科学) |
| 荒 木 宏 道 (館林商工) | 大 橋 正 俊 (墨田工) | 田 村 雄 志 (川崎総合科学) |
| 畠 山 弘 幸 (石巻工) | 中 江 田 澄 江 (総合工科) | 三 河 友 美 (総合工科定) |
| 前 島 奨 (大宮工) | | |

3) 法 規 分 科 会 : 主 査 根 岸 俊 行 (館林商工)

| | | |
|-----------------|----------------|-----------------|
| ☆ 岩 瀬 政 利 (東総工) | 米 原 良 慈 (総合工科) | 中 田 智 晴 (金沢市立工) |
| 谷 康 博 (敦賀工) | 広 田 喜 文 (武生工) | 萱 沼 俊 一 (宮城県工) |
| 笹 原 玲 香 (島田工) | 田 村 信 義 (安房拓心) | 大 木 英 生 (藤沢工科) |

4) 構造分科会：主査 青 柳 昭 (市川工)

| | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| ☆佐々木 英 治 (藤沢工科) | 井 上 純 一 (千葉工定) | 榎 本 吉 晃 (安田学園) |
| 遠 藤 啓 史 (市川工) | 小 澤 誠 志 (総合工科) | 菅 沼 雄 介 (富士北陵) |
| 菅 谷 太 郎 (春日部工) | 鈴 木 隆 (田無工) | 益 野 英 昌 (仙台工) |
| 黒 澤 昇 (高崎工) | 星 野 志 保 (甲府工定) | 袖 野 貴 義 (小松工) |
| 松 原 昌 忠 (田無工) | 松 本 紗 苗 (総合工科) | 宮 田 翔 平 (田無工) |
| 高 橋 康 代 (蔵前工定) | 高 橋 裕 (小田原城北工) | |

5) 施工分科会：主査 林 祐 介 (京葉工)

| | | |
|-----------------|----------------|---------------|
| ☆渡 邊 恵 一 (小山北桜) | 権 田 幸 男 (大宮工) | 吉 村 公 利 (大宮工) |
| 平 柳 政 幸 (日工大駒場) | 田 島 儀 雄 (那須清峰) | |
| 峯 孝 一 (市川野崎学園) | 高 旨 清 仁 (東総工) | |

9. 編集委員会：委員長 小 関 茂 雄 (京葉工)

☆田 村 信 義 (安房拓心) 遠 藤 啓 史 (市川工)

10. 製図コンクール運営委員会：委員長 ト 部 寿々子 (京葉工)

| | | |
|------------------------|------------------|---------------|
| ☆佐 藤 康 雄 (神奈川工定) | 高 野 史 晃 (真岡工) | |
| (製図分科会) 中曾根 康 (高崎工) | 村 井 和 幸 (上越総合) | 笹 崎 ひろみ (墨田工) |
| (計画分科会) 荒 木 宏 道 (館林商工) | 田 村 雄 志 (川崎総合科学) | 畠 山 弘 幸 (石巻工) |
| (法規分科会) 根 岸 俊 行 (館林商工) | 萱 沼 俊 一 (宮城県工) | |
| (構造分科会) 鈴 木 隆 (田無工) | 青 柳 昭 (市川工) | |
| (施工分科会) 吉 村 公 利 (大宮工) | 平 柳 政 幸 (日工大駒場) | |

11. 資格取得推進委員会：委員長 石 井 直 樹 (前橋工)

| | | |
|----------------|---------------|----------------|
| ☆泉 隆 一 (大宮工) | 鈴 木 隆 (田無工) | 五十嵐 忠 彦 (宇都宮工) |
| 遠 藤 啓 史 (市川工) | 小 林 克 哉 (蔵前工) | 白 井 尚 美 (墨田工定) |
| 松 本 紗 苗 (総合工科) | | |

12. 広報委員会：委員長 高 橋 裕 (小田原城北工)

☆佐々木 英 治 (藤沢工科) 菅 谷 太 郎 (春日部工) 榎 本 吉 晃 (安田学園)

13. 顧問及び参与

1) 顧問

| | | |
|------------------|----------------|------------------|
| 北 島 敬 己 (第16代会長) | 原 田 昭 (第18代会長) | 岡 田 義 治 (元委員長) |
| 佐 藤 清 親 (第20代会長) | 能 智 功 (第21代会長) | 佐 藤 則 夫 (第22代会長) |
| 村 田 敬 一 (元前橋工校長) | 平 林 博 (第23代会長) | 豊 田 善 敬 (第24代会長) |

2) 参与

| | | |
|----------------|------------------|--------------|
| 土 田 裕 康 (元副会長) | 大 間 俊 彦 (元編集委員長) | 大久保 健 (元副会長) |
| 小 沢 宏 (元副会長) | | |

14. 全国高等学校建築教育連絡協議会

| | | |
|-------|---------|-------------------|
| 会 長 | 三 神 幸 男 | 東京都立墨田工業高等学校 (校長) |
| 副 会 長 | 藤 平 秀 幸 | 千葉県立市川工業高等学校 (校長) |
| 副 会 長 | 石 原 正 道 | 名古屋市立工芸高等学校 (校長) |
| 事務局長 | 小 島 聡 | 千葉県立市川工業高等学校 定時制 |
| 会 計 | 鈴 木 健 | 東京都立墨田工業高等学校 |
| 理 事 | 米 原 良 慈 | 東京都立総合工科高等学校 |

5. 平成28年度総会・研究協議会報告

千葉大会事務局長
千葉県立市川工業高等学校
遠藤 啓史

1. はじめに

第6回東日本建築教育研究会総会・研究協議会、千葉大会は千葉市美浜区、ホテルグリーントワー幕張を会場に行われた。大会事務局は千葉県立市川工業高等学校とし、京葉工業高等学校、東総工業高等学校の3校で協力して大会運営にあたった。

2. 本研究会の目的

建築教育に関する研究協議を行い、建築技術教育等の向上改善を図るとともに、その内容を将来、基幹産業である建築業界を担う人材の育成に活かすことを目的とする。

3. 日程・会場・参加人数

日程：平成28年8月4日（木）～8月5日（金）
会場：ホテルグリーントワー幕張（千葉県千葉市美浜区）
参加人数：171名
（内訳 会員129名、賛助会員25名、来賓等17名）

4. 共通テーマ

『グローバル社会における建築教育』

5. 大会概要

《第1日目 8月4日（木）》

○都道府県理事会

挨拶、各理事紹介、議事、各都道府県の現状報告

○開会式

来賓として

厚生労働省職業能力開発局企業内人材育成支援室
室長 藤浪 竜哉
千葉県教育庁教育振興部 副参事 兼 指導課
学力向上室長 佐藤 幸
千葉県教育庁教育振興部 指導課
指導主事 村上 英輝
公益社団法人全国工業高等学校長協会
副理事長 鈴木 賢二
一般社団法人千葉県建設業協会 会長 畔蒜 毅
西日本工高建築連盟 会長 吉田 直人
（代理 和歌山工業高等学校 建築科 藤田 光男様）
ご臨席のもと、開会式が行われた。

○総会

平成27年度事業報告・会計決算報告・会計監査報告が行われ承認された。

役員改選後、平成28年度事業計画・予算案が承認された。

各分科会・委員会報告では平成27年度活動報告と今年度の予定が報告された。また、次年度愛知大会より総会時の研究協議Ⅰのローテーションの変更が決定された。平成34年度の大会開催都道府県は山梨県で行うことが決定した。

○講演Ⅰ

・「建設産業における担い手の確保・育成について」

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課

労働資材対策室長 矢吹 周平

建設業における就業者数の現状と今後の見通しから、技能労働者の処遇改善に向けた取組、建設キャリアアップシステムの必要性、建設技能労働者の担い手確保・育成施策などに関して詳しくご講演いただいた。

・「厚生労働省の人材育成政策」～ものづくり分野を中心に～

厚生労働省 職業能力開発局

企業内人材育成支援室長 藤浪 竜哉

技能者の育成確保や、キャリアアップ支援などの、ものづくり分野の人材育成に関する主な取り組みから、認定職業訓練及びその具体例、技能検定制度の概要、ものづくりマイスターによる技能者育成支援などに関する内容を詳しくご講演いただいた。

○研究協議Ⅰ（分科会：テーマ）

製図：「製図課題の指導法」～教科書「建築設計製図」活用状況から～

製図分科会では製図教科書の活用状況調査の中間報告を製図分科会委員の群馬県立高崎工業高等学校・中曽根康先生からご報告いただいた。

その後のグループ討議では参加者が4つのグループに分かれA1版に拡大された図面に、「図面の疑問点」を赤い付箋、「指導上の工夫点」を青い付箋、「その他意見」を黄色い付箋の3種類の付箋に記入して貼り付け、それを各班で研究討議し発表する形式で行われ、指導上の疑問点や工夫している点等の情報交換が行われた。

計画：「模型製作指導法 ～スチレンボードを使った基本的加工法について～」

計画分科会では「建築模型」について、指導方法、教材活用などについて研究協議が行われた。

研究協議会の流れは、本年度テーマの説明、3人一組での模型製作演習、グループごとの研究協議、各グループの発表、質疑応答、アンケート記入の順で行われた。

模型作成演習と研究協議、発表では2つの模型パターンのそれぞれの加工方法や提示方法の違いの検討と意見交換等が行われた。またアンケートでは建築模型指導に関する現状や課題、要望、今回の研究協議の感想などがよせられた。

法規：建築基準からひもとく『消防法』～設計時から配慮すべき建物維持管理に不可欠な消防規制対応について～

法規分科会では、講師に一般社団法人 東京防災設備保守協会 防火安全部防火安全対策課 伊藤 實 氏をお招きして、建築と消防法との関りについて講演をいただいた。

講演では設計者と消防機関との関係、消防法の体系、

消防用設備等の設置・維持、消防設備士制度、危険物施設、少量危険物施設等についてお話をいただいた。

構造：「構造力学シミュレーションソフトを用いた問題作成」～わかる授業への第一歩～

構造分科会では分科会の委員である神奈川県立藤沢工科高校、佐々木先生と東京都立蔵前工業高校（定時制）、高橋先生の両名からシミュレーションソフトを活用した研究授業を紹介していただいた。それらを受けて授業改善等の意見が多数寄せられた。

また、今後の課題として、教員がより高度な授業力を身につけ、生徒の未来をひらく「わかる授業」へと転換できることを望みたいとの方向性が打ち出された。

施工：「実践に基づく簡略測量実習 ～水盛り・遣方～」

施工分科会では、実践的な水盛り・遣方の簡略測量実習の指導方法等について協議を行い、実際の現場における測量技術の活用方法を生徒に理解させることができるような測量実習の授業展開の在り方、測量教材等について実際の体験を通して研究協議を行った。

また、今回の研究協議とともに各校でも測量に関する教材の研究がされ、それらが今後の会員の方々の測量指導に役立つことを期待する旨、発表され研究協議会は閉じられた。

《第2日目 8月5日（金）》

○講演Ⅱ

・「工業科の現状と今後の在り方について」

文部科学省 国立教育政策研究所

教育課程研究センター研究開発部

教育課程調査官 持田 雄一

中央教育審議会諮問の内容から、スーパープロフェッショナルハイスクール、全校産業教育フェア、関係法令、教育課程、専門高校の現状ならびに高校新卒者の就職状況、教育課程研究指定校事業、教員研修センター等について詳しくご講演いただいた。

○研究協議Ⅱ

(1) 研究発表

①「フィリピン・セブ島における竹骨組み2階建て仮設住宅の研究開発」

千葉県立市川工業高等学校 建築科

青 柳 昭

千葉県立市川工業高等学校、建築科3年生課題研究での活動を中心に市川市、日本大学理工学部、フィリピン・セブ工科大学等との相互協力のもと「竹骨組み2階建て仮設住宅の研究開発」を通してフィリピン・セブ島での生徒の海外研修並びに現地の方との相互交流に関する研究の内容を発表された。

②「建設現場における実践的な建築施工の研究」－平成27年度高等学校産業教育・理科教育内地留学研修員として－

愛知県立愛知総合工科高等学校 建設科

鈴木 節也

愛知県立愛知総合高等学校、校舎新設工事において行

われた「高等学校産業教育・理科教育内地留学研修」について発表された。「建築施工や施工管理について実践的な知識を習得しました、実践的な内容の教材研究を行う」ことを目的として実際の建設現場にて行われた研修内容について発表された。

(2) 分科会報告

各主査より、前日の研究協議Ⅰの報告があった。

○講評

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

副理事長 鈴木 賢二

○閉会式

会長挨拶、実行委員長謝辞、次期開催県代表挨拶

○研究視察

幕張ベイタウン地区見学会

・マンション、街並みコース

・学校建築コース

6. おわりに

約20年ぶりに開催の東日本建築教育研究会千葉大会が終了しました。約2年の準備期間をかけた千葉大会は、県内に3校ある建築系工業高校の先生方の協力をもって開催することが出来ました。また、助言等いただいた校長・教頭先生、本部役員の方々、日頃より本会の運営にご協力いただいている協賛企業・団体の方々、さらに千葉県教育委員会、千葉県高等学校工業教育研究会、千葉県建設業協会、広告協賛をいただいた企業・団体の方々にはこの場をお借りして心から感謝申し上げます。

最後に次年度、愛知大会の盛会をお祈り申し上げ、おわりの言葉とさせていただきます。

6. 平成28年度夏期研究協議会 報告

静岡県立島田工業高等学校

坂本真生

1. はじめに

建築士試験において、建築史は苦手としている人も多い。高校教育においては、建築史は然程重要視されておらず、生徒が普段見る街並み＝建築物が、どのような背景を経て建っているのか、理解されていないのが現状である。

そんな中、今年度の夏期研究協議会は、製図分科会の主催で、「上野フィールドワーク」と題し、7月28～29日の2日間の日程で、東京都上野にて行われた。

上野恩賜公園周辺は、過日世界文化遺産に登録された、国立西洋美術館を始めに、東京文化会館や国立博物館などが建ち、日本最大の芸術・文化の拠点として知られている。有名建築家たちが建物に込めた建築理論やデザインについての理解を深め、今後の建築のあり方について考えることを目的に、研修を行った。

2. 概要

期日：平成28年7月28日（木）～29日（金）の2日間

会場：東京都台東区上野公園 東京文化会館他

テーマ：「上野フィールドワーク」

参加校：青森県立弘前工業高校、新潟県立新津工業高校、足利工業大学付属高校、群馬県立館林商工高校、群馬県立高崎工業高校、富山県立高岡芸芸高校、埼玉県立大宮工業高校、埼玉県立春日部工業高校、千葉県立市川工業高校、東京都立蔵前工業高校、東京都立田無工業高校、東京都立墨田工業高校、神奈川県立神奈川工業高校、静岡県立島田工業高校、岐阜県立大垣工業高校、関市立関商工高校、鳥取県立米子工業高校、中央工学校、日本工学院八王子専門学校

講師：鈴木実先生

3. 研修内容1

| | |
|-------------|------------------------------------|
| 1日目 | |
| 9:30～ | 受付 |
| 9:50～ | 開会行事（東京文化会館・会議室） |
| 10:00～12:00 | 講義「国立西洋美術館について」 |
| 12:00～ | 見学1 ①東京文化会館 ②国立西洋美術館 ③東京都美術館 |
| 13:15～14:15 | 昼&移動 |
| 14:15～16:45 | 見学2 ①国立現代資料館 ②旧岩崎邸庭園 |
| 16:45～ | 諸連絡・解散 |

集合場所となった東京文化会館は、世界文化遺産の国立西洋美術館を設計した、ル・コルビュジェの弟子である、前川國男による建築物で、日本一音響の良い文化ホールとして名高い。道を挟んで師弟の作品が並ぶのは非常に興味深い。文化会館内では、一般客用の「赤の階段」、関係者用の「青の階段」が一番印象に残った。

国立西洋美術館についての講義は、当初30分の予定が、それだけでは語り切れなかったのだろう、何と2時

間近くとなった。炎天下に出ても講義は続き、結果、美術館見学は、30分という非常に短い時間となってしまった。ぐったりするほどの熱意で教えて頂いた事は、日本の建築技術の高さについてである。モダン建築が世界を席卷していた1930年代、日本の建築物が当時のフランスやドイツの建築雑誌で紹介されていたようだ。旧東京中央郵便局や高輪小学校など、公共建築のデザインや建設技術が世界で高く、評価されていたとは驚きであった。

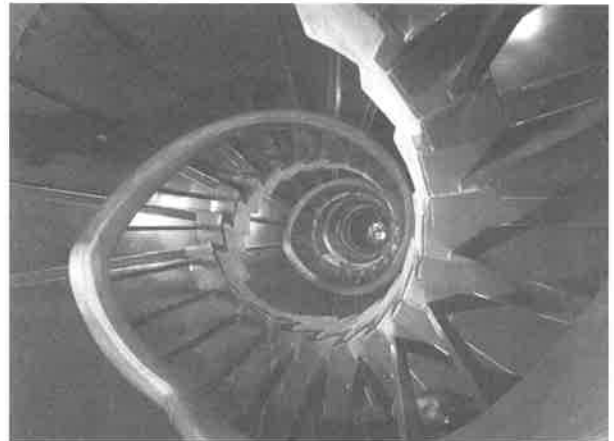


写真1 東京文化会館 青の階段

また、西洋美術館の設計者であるル・コルビュジェは、近代建築3巨匠の1人であり、彼には日本人の弟子が3人いた。その3人が遠くフランスにいる彼の意思を読み、この国立西洋美術館の設計を完成させた。この点は、建築に携わる人達にとっては既知の事実なのだが、生徒は普通教わらない。教員として魅力を伝えていかなければならないと再認識した。

ところで、ル・コルビュジェの凄い点は、今ある建築物の基盤が、彼のアイデアを基にしていることである。等間隔で立てた柱で、床を支え、階段で結ぶ（当然耐力壁などの要素もあるが）。これをドミノシステムと言い、この発明によって自由に壁に窓を設けることができるようになった。現代の一般的な鉄筋コンクリート造は、ほぼ全てがこの延長線上であると言え、その脱却を図ったものが、伊藤豊雄などの作品に見られる。



写真2 国立西洋美術館

そんなスイスの天才建築家は、日本から美術館の設計を要請された時、美術館に加え、移動式パビリオンと文化会館もセットで設計提案したそうである。しかし当時の日本政府は、美術館だけで良い、他はいらないと断ったそうだ。それを聞いてやる気が無くなったのか、ル・コルジエは12枚の図面しか日本に送ってはこなかった。現代、美術館が無事に建っているのは、寸法すら描かれていなかった図面を深く読み解き、フランスと日本を行き来して、ル・コルビジェの設計を形にしようと奮闘した3人の弟子の偉業である。ル・コルビジェだけではなく、この3人こそが国立西洋美術館設立の立役者である。その内の1人、前川國男設計の東京文化会館だが、師に敬意を表して、上から師を見降ろさないよう、建物の高さを美術館より低くしたり、外部建具の方立を、美術館のエントランス部分の床仕上げの目地に合わせるなど、その徹底ぶりに心打たれた。



写真3 東京文化会館 ホール

4. 研修内容2

| | |
|-------------|---|
| 2日目 | |
| 9:40~ | 受付 |
| 10:00~11:45 | 講義(東京文化会館・会議室) 「上野の杜の建築群について」 |
| 12:00~ | 見学3 ①東京国立博物館本館 ②東洋館 ③表慶館 ④法隆寺館 |
| 13:15~14:00 | 昼&移動 |
| 14:00~16:45 | 見学4 ①国立国会図書館 ②東京国立博物館黒田記念館 ③東京藝術大学正木記念館 |
| 16:45~ | 諸連絡・解散 |

折しも季節は7月。朝に咲くという蓮の花に向かって通勤の人に混じって不忍池に行くと、池はカメラを構えた人がいっぱいだった。案外、現代に求められているものは、新しいものより、昔ながらの変わらないものなのかもしれない。

昨日に引き続き、東京文化会館にて講義を受講した。上野周辺には、多くの近代建築が立ち並んでいるが、建てられた年代による変化を知ること、当時の日本建築を取り巻く人の考え方の変や技術革新、モダニズムの変化・流れを感じることができ、当時へと思いを馳せることができたかもしれない。

国立博物館を巡り、国立国会図書館(国際子ども図書館)を廻る。豪華なスケジュールの中でも、熱心な講義は伸びていく。講師から、日本は、建築の現図に価値を置いていないという裏情報があった。我々教員は、建築を学ぶ生徒に、図面は大切なものだという事を説いているが、社会はその逆の事を行っていることに愕然とした。現図は、建築物竣工後に行う修復・改修には必ず必要となるし、建築家の思いが表れた線を見ることが出来る。外国では大切に保存し、ぜひ買いたいという価値のあるものとして認識されている。ハーバード大学は丹下健三の現図を所有している。修復する際には、日本政府は1枚50万円で貸出してもらおうそうだ。情けない話だと思う。まず国が価値を認め、大切に保存して欲しいと感じた。

博物館見学時、私が特に気になったのは、建築家谷口吉郎・吉生親子の作品が目と鼻の先に建ち合っていることである。国立博物館東洋館(1968谷口吉郎)は、伝統的な日本建築の要素が多く含まれている建築物である。高床式・柱の並びの美しさ・内部は中央に吹き抜けのある空間となっている。それに向かい合うように建つのが、国立博物館法隆寺館(1999谷口吉生)である。箱の中に箱がある、入れ子の建て方になっている。夏は特にこのシャープなデザインの涼しさ美しさが引き立つように感じた。この作品を見てN.YのMOAは、コンペ参加を彼に要請する。結果、コンペを勝ち抜いて、谷口吉生による新しいMOA美術館が完成した。



写真4 東洋館



写真5 法隆寺館

5. 終わりに

真夏日で、体力も気力も尽きかけた2日間だったが、上野周辺の文化施設群の多様さに圧倒され、その背景に触れることもできたと共に、日本が世界に誇る建築家達の作品に触れることができ、非常に有意義な時間を過ごせた。建築物の背景を知れば、自分を取り巻く環境に愛着が湧いてくることを、生徒に伝えたい。そして、建築の奥深さを知って欲しいと思う。

最後に、今回の研究協議会にあたり、ご講義下さった鈴木先生を始め、運営に携わった製図分科会の先生方など、多くの方に心より感謝申し上げます。



写真6 集合写真

7. 製図分科会 活動報告

埼玉県立春日部工業高等学校
吉 城 守

1. はじめに

製図分科会では「教材の提案」と「研修の場の設定」を大きな目標として活動しています。教科書だけでは指導しにくい部分を補う教材の提案や、教員対象の「設計製図指導者研修会」や生徒対象の「建築系高校生設計製図講習会」を実施してきました。

以下に山形大会以降の活動報告をいたします。

2. 製図分科会活動状況

(1) 2015年11月26日 (於：中央工学校)

製図分科会委員会

- ・山形大会研究協議(製図分科会)報告
- ・3D-CAD研修会並びに講習会の依頼について
- ・H28「夏期研究協議会」について
- ・教科書「建築設計製図」活用状況調査について
- ・千葉大会研究協議(製図分科会)について
- ・その他

(2) 2016年2月20日 (於：金沢市立工業高等学校)
「3D-CAD研修会・講習会」

- ・開講式、講師紹介、フリーソフト使ったプレゼンテーション技法講習、閉講式

(3) 2016年3月15日 (於：日本工学院専門学校)

製図分科会委員会

- ・H28「夏期研究協議会」について
- ・教科書「建築設計製図」活用状況調査について
- ・千葉大会研究協議(製図分科会)について
- ・その他

(4) 2016年6月2日 (於：中央工学校)

製図分科会委員会

- ・H28「夏期研究協議会」について
- ・教科書「建築設計製図」活用状況調査について
- ・千葉大会研究協議(製図分科会)について
- ・その他
- ・高校生対象コンペティション入賞作品見学(中央工学校)

(5) 2016年7月7日 (於：東京文化会館)

製図分科会委員会

- ・H28「夏期研究協議会」について
- ・千葉大会研究協議(製図分科会)について
- ・教科書「建築設計製図」活用状況調査について
- ・その他

(6) 2016年7月28・29日

夏期研究協議会「上野フィールドワーク」

- ・上野公園を中心とした近代建築物についての講義と見学

3. 「3D-CAD研修会・講習会」報告

開催日：平成28年2月20日(土)

場 所：金沢市立工業高等学校・マルチメディア教室

- 内 容：・開会式
・演習Ⅰ
・昼 食

・演習Ⅱ

・閉会式

参加者：15名(金沢市立工、敦賀工、武生工)



製図分科会では、平成23年度より「CADによるプレゼンテーションの手法を身に付ける」ことを目的に、生徒と教員を対象とした講習会・研修会を実施してきました。27年度は会場や日程等の諸事情により実施を見合わせていたところ、金沢市立工業高等学校より実施依頼があり、先生、生徒並びに、近県の先生方を対象に実施することになりました。

先生5名、生徒10名の計15名に参加していただき、今回もフリーソフトのJw_cadとSketch Upを使用して、プレゼンテーション図面を作成するという内容で行いました。3D-CAD(Sketch Up)を初めて使用する方が殆どでしたので、最初戸惑う部分も見受けられましたが、だんだんと操作にも慣れ、3D-CADの活用方法を学んでいただけたと思います。時間的に若干忙しい部分もありましたが、有意義な研修会・講習会になったと感じています。

最後になりますが、金沢市立工業高等学校の中田智晴先生をはじめ、建築科の先生方には準備から当日の運営まで大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げます。また、快く会場をご提供いただき、全面的にご協力いただきました金沢市立工業高等学校の小酒正明校長先生に感謝申し上げます。

4. 平成28年度夏期研究協議会

「上野フィールドワーク」報告

開催日：平成28年7月28日(木)・29日(金)

参加者：29名(1都12県より)

見学先：

- ・東京文化会館 ・国立西洋美術館 ・東京都美術館
- ・国立近現代建築資料館 ・旧岩崎邸庭園
- ・東京国立博物館本館、東洋館、表慶館、法隆寺館
- ・国際子ども図書館 ・東京国立博物館黒田記念館



近代建築史に名の残る作品が多い上野公園を中心に、専門家による講義と解説を受けながら建物を見学することで、有名建築家たちが建物に込めた建築理論やデザインについての理解を深め、今後の建築のあり方について考えることを目的に、「上野フィールドワーク」と題して、スタジオM2の代表で東京造形大学講師の鈴木実先生を講師に招き、世界遺産に登録された西洋美術館はじめ、上野の杜の建物見学を中心に実施いたしました。1都12県より、29名の先生方にご参加いただきました。東京文化会館のバックヤード等、普通では見学できないような場所も見学でき、有意義な研修会となりました。

最後になりますが、全面的にご協力いただきました上野観光連盟の茅野雅弘事務総長様、大坪京市様には大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げます。また、お忙しい中ご講義並びにご案内いただきました鈴木実先生に感謝申し上げます。



5. 第66回 東日本建築教育研究会千葉大会 研究協議Ⅰ（製図分科会） 報告

開催日：平成28年8月4日（木）

会場：ホテルグリーンタワー幕張

参加者：29名

テーマ：「製図課題の指導法」

～教科書「建築設計製図」活用から～



研究協議Ⅰ（製図分科会）では、昨年度実施しました教科書「建築設計製図」活用状況調査の中間報告を製図分科会委員の群馬県立高崎工業高等学校・中曽根康先生からご報告いただきました。

今回の調査で製図例2-1（木造平屋建住宅 配置図・平面図）、2-3（木造平屋建住宅 立面図・断面図）が多くの学校で指導されていることが分かりました。そこで、製図例2-1、2-3について参加された

先生方から意見をいただき、更に情報交換の場となるよう「グループ討議」の形式で研究協議会を行いました。

「グループ討議」の方法は、参加者29名が4グループに分かれ、A1サイズに拡大した図面に、個々が気になる点を付箋に書いて貼り付け、それをまとめ各班3分間以内で発表する形式で行いました。ちなみに付箋は3色用意し、赤い付箋に「図面の疑問点」、青い付箋に「指導上の工夫点」、黄色に「その他意見」を記入していただきました。

スタートの時点で参加された先生方に戸惑いも見られましたが、付箋を貼り付けていくうちに段々と話し合いが活発になり、情報交換の場になったと感じています。

時間の関係上、製図例2-3（木造平屋建住宅 立面図・断面図）については、残念ながらグループ討議ができませんでしたが、各校の先生方が疑問に思っていることや指導上で工夫されている点などが分かりました。製図分科会では、このグループ討議の内容を今後の研究に活かし、平成30年度以降の大会において、授業展開方法や指導法の提案に繋げて行きたいと思っております。今後も製図指導に関するご意見をお寄せいただきたいと思います。

最後になりますが、研究協議会にご参加いただきました先生方並びに、運営にお手伝いいただきました千葉県の先生方に感謝いたします。また、昨年度「教科書「建築設計製図」活用状況調査」にご協力いただきました学校に改めてお礼申し上げます。



6. おわりに

製図分科会担当の各種研修会の様子は報告書として、東日本建築教育研究会のホームページ（<http://www.hnkkk.org/>）に掲載してありますので、是非ご覧いただければと思います。

昨年度より製図の授業展開や教科書の製図例について複数年計画で研究を行っています。その第一段階として、教科書の活用状況調査を実施しました。昨年度70校よりご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。今年度も継続的に調査を行います。まだご回答いただいていない学校には、ご協力をお願いしたいと思います。また、一昨年度まで実施してきました「3D-CAD研修会」を県や学校単位で実施したいとの要望があれば、お声掛けいただければと思います。

製図分科会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

8. 計画分科会 活動報告

埼玉県立川越工業高等学校

江原 聖直

1. はじめに

計画分科会では本年度より「建築模型」の指導方法並びに教材活用などについて、研究を始めることにしました。

模型製作に関しては、基本となる「白模型」から「コンペ作品」、「自主設計」とその範囲は広く、製作指導における時間の確保や材料、技法は各校において様々な指導の工夫がなされており、個々の対応に委ねられているのが現状と想像されます。初期の模型製作指導においては基本的事項におおよその共通理解が図れるものと考えられますが、決め手となるような指導法は教科書（建築実習・工業技術基礎）だけでは不十分であり、より細部に渡る指導法の研究を行うことにより、一定の共通理解のある指導につながると考え今回のテーマとしました。

上記の内容を中心に活動報告をいたします。

2. 計画分科会 活動報告

H27.12.7 (月) 第3回 研究協議会 (墨田工高)

○今後の研究テーマについて (千葉大会に向けて)

- ・山形大会のアンケート結果より反映させることとなり、初期段階の模型製作指導内容の教材を参加者に行ってもらい、加工方法等について生徒への指導上の留意点などを協議し発表するものとなりました。
- ・テーマを「模型製作指導法 ～スチレンボードを使った基本的加工法について～」としました。
- ・具体的な模型教材について提案しました。

H28.2.1日 (月) 第4回 研究協議会 (墨田工高)

○千葉大会研究協議Iについて

平成28年度 千葉大会の研究協議会 (分科会) について、実施内容を協議しました。また、委員により模型製作用の教材を実際に加工・組立てを行い、問題点を洗い出しました。

H28.5.23 (月) 第1回 研究協議会 (墨田工高)

○千葉大会研究協議Iについて

前回に引き続き、千葉大会で使用する模型製作用の教材について、加工・組立てを行い改善された部分について検証を行いました。

千葉大会当日の研究協議会運営に関して時間配分の協議並びに役割分担の決定、使用機材・模型教材・資料・調査並びにアンケート内容の確認を行いました。

3. 第66回 千葉大会 研究協議I 報告

日時：平成28年8月4日 (木)

会場：ホテルグリーンタワー幕張

テーマ：「模型製作指導法～スチレンボードを使った基本的な加工法について～」(演習・協議)

参加者：35名

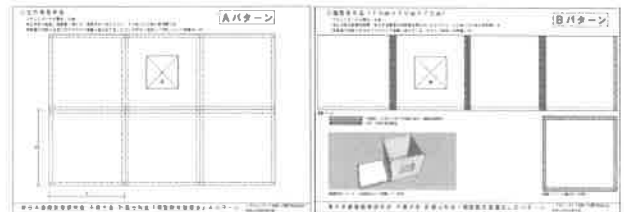
協議会の流れ

- ・計画分科会での活動と本年度テーマの説明
- ・模型製作 (3人1グループで取り組む)
- ・研究協議 (グループにて指導ポイントまとめ)
- ・グループ発表
- ・質疑応答、アンケート記入

演習と研究協議の概要

計画分科会での活動と本年度テーマ並びに、テーマに基づいた模型製作の演習と協議の進め方について説明をいたしました。

模型の教材は2つのパターンを用意し、それぞれA・Bと名付け、加工方法や提示方法の違いを検討して頂きました。演習は3人1グループで構成し、まず先ほどのパターンA・Bの選択、そして作成・記録・発表と分かれ役割分担を決めて頂きました。それぞれ、作成中の方への助言や意見交換を行い30分程度で完成を目標としました。



Aパターン (加工法自由)

Bパターン (加工法制約有)

- A) 70mm×70mm×70mmの立方体の作成、加工方法自由
- B) 70mm×70mm×70mmの箱型の作成、加工方法指定

その後、各班での作成結果並びに参加者の所属校における指導方法などを交え、協議結果記録用紙にまとめて頂きました。

Aパターン、Bパターンそれぞれ取り組まれた代表2組に協議結果をご発表頂きました。

【Aパターンで取り組まれた班の発表】



【Bパターンで取り組まれた班の発表】



参加者の模型指導に関する各校の調査・アンケート結果

1 模型指導に関する調査

1) 実際に貴校で模型の指導に取り組まれている「学年・科目・内容」をご記入ください。(複数学年に渡る場合はお分かりになる範囲で結構です)のでご回答ください)

| 学年 | 科目※数値は校数 | 内容 |
|----|---------------------------|---|
| 1 | 工業基礎：11 製 図：1 | 木造平屋(1/100)、スチレンボードを使った模型の基本木造軸組、その他 |
| 2 | 建築実習：7 製 図：2 | 木造平屋(1/50)、2F木造スチレンボード、木造軸組自由設計 |
| 3 | 建築実習：3 製 図：9 課題研究：3 | コンペ模型、2年次の自由設計創作模型、インテリア模型、コンタ模型(等高線模型) |

2) 今回の協議で取り扱った内容(スチレンボードを利用した基本的加工法)を貴校の授業で取り入れる場合、適当な指導学年・学期について以下にご記入ください。 ※数値は校数を表す

| 学年 \ 学期 | 1 | 2 | 3 | 前期 | 後期 | 通年 |
|---------|---|---|---|----|----|----|
| 1 | 4 | 3 | 5 | | 1 | 1 |
| 2 | | 1 | 1 | | | 1 |
| 3 | | 1 | | 1 | | |

3) 模型指導についてご苦労されている点についてご記入ください。(自由記述)

※()の数値は件数を表す

- ・道具使用法(4) ・完成度を高める指導(4)
- ・安全指導(6) ・カッターが使えない(3)
- ・立体把握(1) ・図面の読み取り(1)
- ・道具、材料の管理(1) ・実施時間の確保(1)

4) 普段の模型の授業で使用されている道具について該当するものをチェックしてください。

※()の数値は件数を表す

- カッター
30°刃(14)、45°刃(10)、
その他(デザインカッター)
- 定規
アクリル系(10)、金属系(15)、
スコヤ(6)、差金(4)
- 接着剤
スチのり(14)、木工用ボンド(10)、
スプレーのり(12)、その他(両面テープ)
- 上記以外の道具
ピラニアソー、ラバークリーナー、
カッターマット(A3をA4に折りたためるもの)

5) 今回の研究協議会においてご意見、ご感想をお書きください。

- ・本で読んでも分からない部分が解決した。
- ・費用面の問題で課題研究でのプレゼン模型を取りやめた。他校の状況を知りたい。
- ・他のスチレンボードの加工方法についても知りたい。
- ・様々な方法を学べた。今まで気が付かない方法があった。
- ・座学で模型を取り入れたいと考えているので実施してみたい。
- ・スチレンボードの切断時にカッターをどのように使うか等、指導上の観点についても参考となった。
- ・スキルのあるプロを呼んで指導を受けたかった。
- ・協議内容が基本的過ぎて必要性を感じなかった。

2 計画分科会の活動についての要望

- ・仕上表現(テクスチャー)の研修をしてもらいたい。
- ・実習形式の研究協議で良かった。今後の継続希望。
- ・自由設計のプランを上手く考えさせる方法について知りたい。

4. おわりに

千葉大会にて研究協議Iにご参加くださいました先生方、賛助会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

本年度総会で承認頂きました通り、計画分科会は次年度の愛知大会において研究協議Iを行いません。代わりに夏季研究協議会では、模型製作について建築家の指導による実習と、建築模型展示ギャラリー等の見学を、2日間で計画しております。多数のご参加をお待ちしております。

今後とも計画分科会では、さまざまな視点から計画分野の研鑽と教材開発、知識の共有を図って参りますので、宜しく願い申し上げます。

9. 法規分科会 活動報告

群馬県立館林商工高等学校

根岸俊行

1. はじめに

法規分科会では、会員参加型講習会として「各種講習会・現場見学会」の実施、研究調査による研鑽に委員の更なる建築法規理解も兼ねて、「建築法規 過去問題集」及び、「建築法規 ワークノート」の編集を並行して取り組んでいます。

以下、既済の活動内容及び今後の活動予定を報告します。

2. 活動報告

(昨年度 山形大会から、本年度 千葉大会まで)

I. 分科会議事

(1) 第58回 法規分科会 会議

(15/12/01 一般社団法人 東京防災設備保守協会にて)

- ・平成28年度総会 千葉大会 法規分科会研究協議会について
- ・平成28年版「建築法規 過去問題集」及び「建築法規 ワークノート」の編集
- ・その他
- ・伊藤建築塾の訪問

(2) 第59回 法規分科会 会議

(16/03/18 ヒルサイドテラス アネックスA棟にて)

- ・平成28年度総会 山形大会 法規分科会研究協議会について
- ・平成28年版「建築法規 過去問題集」及び「建築法規 ワークノート」の編集
- ・その他
- ・旧朝倉邸の見学、佐々木睦朗展の観覧、代官山(ヒルサイドテラス)の散策



ヒルサイドテラス A棟



代官山 蔦屋書店



旧朝倉家住宅

(3) 第60回 法規分科会 会議

(16/05/26 市ヶ谷出版にて)

- ・平成28年度総会 山形大会 法規分科会研究協議会について
- ・平成28年版「建築法規 過去問題集」及び「建築法規 ワークノート」の編集
- ・その他
- ・田中元雄先生(東京電機大学未来科学部建築学科講師)より、平成27年施行の法改正についての内容と、教科書や法文から読み取ることが難しい法規の基本的な用語の定義や考え方についてのお話を伺う。

II. 建築法規 過去問題集

(HPに掲載中)

研究調査による研鑽として、基礎的理解を深める発展的学習の教材「建築法規 過去問題集」の編集を行いました。

平成22年度より従前の建築士試験過去問題集に「2級建築施工管理技術検定試験問題の法令関係」の問題を追加しています。

頒布については研究会HPに掲載しておりますので、ぜひご活用いただき、ご意見等をお寄せ下さいますようお願い致します。

III. 建築法規 ワークノート

(HPに掲載中)

研究調査による研鑽として、生徒自らがノート代わりに手元に置きながら必要事項を整理する教材「建築法規 ワークノート」の編集を行いました。

昨年度より、現行の教科書に対応させていただいております。

「建築法規 過去問題集」と同様に研究会HPに掲載しておりますので、ご活用いただき、ご意見等をお寄せ下さいますようお願い致します。

研究会HP【http://www.geocities.jp/hn_kkk/】

IV. 平成28年度総会 千葉大会 分科会研究協議会

(16/08/04 ホテルグリーンタワー幕張にて)

講演：「建築基準からひとく『消防法』

～設計時から配慮すべき建物維持管理に不可欠な消防規制対応について～

講師：一般社団法人 東京防災設備保守協会

防火安全部防火安全対策課 伊藤 實 氏

内容：建物の設計から建物竣工以降、消防法による各種の規制があることについて、建築基準を絡めて解説し、「建築」を学ぶ要素に「消防」を加える必要があるということを理解していただけるよう講演します。(消防法に興味を持ってもらうことを主眼に講演)



分科会研究協議会

目次：

- 第1 設計者と消防機関との関係について
 - 1 消防法第7条の消防同意
 - 2 消防同意の流れとその性格
 - 3 設計から竣工までの主な流れ
 - 第2 消防法の体系について
 - 1 消防法の体系等
 - 2 消防用設備等の設置及び維持の義務付け
 - 3 消防用設備等の種類と設置しなければならない建物
 - 第3 消防用設備等の設置・維持について
 - 1 消防用設備等を設置・維持する法令根拠
 - 2 消防用設備等の設置に関するフロー
 - 3 棟単位の考え方の特例
 - 4 防火対象物の用途判定の考え方
 - 5 消防法施行令第32条（特例基準）
 - 6 消防法の内装制限
 - 第4 消防設備士制度について
 - 1 消防設備士についての法体系
 - 2 消防用設備等の種類
 - 3 消防用設備等の点検・報告
 - 4 各種消防用設備等（例）
 - 第5 危険物施設について
 - 第6 少量危険物施設について
- まとめ「建築を学ぶにあたり「消防法」を考慮する必要性について」

事例研究1

下図の新築建物に自火報設備の要否について

| | |
|---|--|
| 建物概要 ・耐火5階/地階なし 16階口 ・延べ面積1600㎡ ・無窓階該当の階はない ・令8区画なし | 検討手順 ① 建物概要 16階口 5/0 延べ面積1600㎡ ② 防火対象物の「棟」単位で考える ・設置基準は令21条に規定されています ・防火対象物全体に設置する規定はありません ③ 令8区画について ・令8区画の形成はない(図面上・凡例等から) ④ 令9について ・図面の色別した用途(項)ごとに1の防火対象物として、令21条が適用されるか ・令9適用するも、設置基準面積にいたらない ※ 令9の規定は、火災危険の実態と消防用設備等の設置バランス上から疑問(矛盾)がある。 ※ 東京都では、都条例でカバーしている16項で延べ面積1000㎡以上の場合、自火報が防火対象物全体に設置となる。 |
|---|--|

分科会研究協議会

まとめの内容

建築計画に消防法は不可欠な要素です。

1 「建築物」と「消防用設備等」について

法17条で、令別表第1に掲げる防火対象物で政令で定める者の関係者は、政令で定める消防用設備等を、政令で定める技術上の基準に従って、設置し、及び維持しなければならない。と規定されています。

建築物（防火対象物）の新築等を計画している場合、政令で定める技術基準に基づき、消防用設備等を設置しなければならない。

特にSP設備等固定消火設備は建築設備でもあり、建築工事と一体的に施工する必要があります。このことから、設計段階からの配慮が必要です。

2 消防法の考慮なしに建築計画を進めた場合、最悪は①建築確認申請が不同意となること②予算面、工期等の多方面に影響を及ぼし、着工あるいは竣工することが困難となること、等が考えられます。

このようなことから、大規模建築物ほど消防法を念頭に置いて消防機関との事前相談、又は着工後においても適時・適切な打合せが不可欠となります。

V. 今後の活動予定

○平成29年度 愛知大会 分科会協議会

講師：一般社団法人 東京防災設備保守協会

内容：建物維持管理上、消防法に基づく資格者による業務（施工・保守）が必要不可欠であり（需要があり）、その資格を生徒が取得するメリット（就職枠の拡充）について解説するとともに、どのようなことをどのような方法で学ぶ必要があるかについて講演します。

- ・「建築法規 過去問題集」、「建築法規 ワークノート」の編集2級建築施工管理技術検定 過去問題も含む
- ・研究テーマは、「消防法」。ご要望などありましたら、連絡ください。
- ・今後も活発な分科会活動に努めます。会員の皆様のご指導ご協力の程、よろしくお願いいたします。

法規分科会メールアドレス【houki@hknkkk.org】

10. 構造分科会 活動報告

千葉県立市川工業高等学校
青 柳 昭

山形大会総会以降の活動についてご報告いたします。
構造分科会は、関東地方の先生方を中心に総勢18名で活動しています。仙台市立仙台工業高等学校益野先生、石川県立小松工業高等学校袖野先生など遠方の先生の参加もありにぎやかに活動しています。また、今年度は都立総合工科の松本先生が新加入、富士北陵高校（山梨県）の菅沼先生が復帰いたしました。全国の工業高校発展のために尽力して参ります。

1. 分科会活動報告

平成27年度 第4回分科会

平成27年10月23日（金）

東京都立総合工科高等学校 出席者 6名

○内 容

山形総会の反省、千葉大会のテーマ決め、今後の東日本総会の在り方を話し合った。

・山形大会反省

模型を楽しくつくることができた。

授業（課題研究）に役立つものとしたい。

水を流す模型が大がかりすぎて、授業では無理ではないか？

など・・・

・千葉大会のテーマ

第1案

「シミュレーションソフトを活用とした
建築構造力学の問題作成」

第2案

「耐震診断について」

後日正式決定

平成27年度 第5回分科会（現場見学会）

平成27年12月4日（金）＜千葉県千葉市＞

千葉駅改良工事現場見学 出席者 6名

○内 容

・計画概要説明：

①駅……安心・安全な駅、快適でわかりやすい駅、町と一体となった駅。

②駅ビル・エキナカ…千葉の魅力を感じる駅、地域の方が集う駅、魅力的で楽しい駅、環境にやさしい駅。

・技術開発成果の導入

超低空頭場所打ち杭工法、孔壁防護併用場所打ち杭工法を採用・・・効率的な機械施工と昼夜作業施工で工期短縮をはかっている。

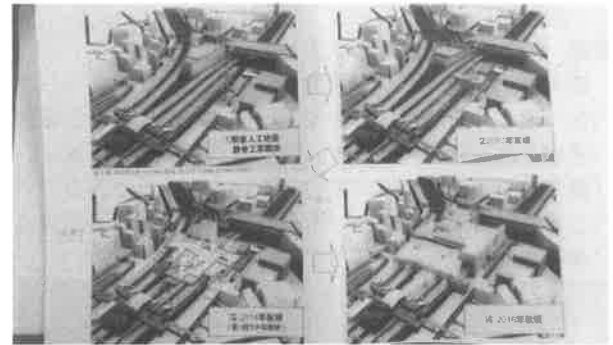


写真1 千葉駅全体施工鳥瞰図（96本の杭を使用）



写真2 大成建設の方から現場の説明を聞く（安田学園高校出身）



写真3 概要説明

写真4 見学会終了後質疑応答



写真5 記念写真

大成建設株式会社の御協力により、駅舎の建設現場見学会を行いました。日頃見ることのできない超低空頭場所打ち杭工法、孔壁防護併用場所打ち杭工法や電車を動かしながらの工事の難しさ、を学習しました。

24時間体制のなか、安田学園（建築学科卒業）の工事担当者が丁寧に説明や現場見学会を案内していただき、「安全第一」を基本とした管理体制の重要性を語っていただきました。

御協力大変にありがとうございました。

平成28年度 第1回分科会

平成28年4月26日(火)

東京都立蔵前工業高等学校 出席者 8名

○内容

千葉大会の分科会テーマ決め、今後の東日本総会の在り方を話し合った。

○テーマの決定

千葉大会のテーマ

「構造力学シミュレーションソフトを用いた問題作成」

～わかる授業への第一歩～

に決定。

「荷重の大きさや部材長さの各種パラメータを連続的に変化させ、それに連動して部材内部の力や図などを動的に見せることのできるシミュレーションソフト」を活用し、授業研究や問題作成の利用方法を探る。

平成28年度 第2回分科会

平成28年7月6日(水)

東京都立蔵前工業高等学校 出席者 11名

○映像の編集

授業内容を収録した映像をもとに編集を行いました。

全日制および定時制における授業風景を撮影し、どのように活用すれば、良い効果が得られるかを検証しました。

・荷重の大きさや部材の長さ、断面のサイズ、荷重位置などのパラメーターをスライダーで変形するとすべて表示が連続的に変化し、この連続した変化に応じて反力値や部材各部の力の値や図を動的にみることができました。

・掲載データは、反力、安定と静定、部材内部の力、トラス、機械的性質、断面の性質などでした。



写真6～8 分科会風景

2 平成28年度 総会 千葉大会 分科会研究会

期日 平成28年8月4日(木)～5日(金)

会場 ホテルグリーンタワー幕張

参加者 30名

テーマ「構造力学シミュレーションソフトを用いた問題作成」

～わかる授業への第一歩～

委員である、神奈川県立藤沢工科高校の佐々木先生と東京都立蔵前工業高校(定時制)高橋先生からシミュレーションソフトを活用した研究授業を紹介していただきました。

藤沢工科高校では、2年生の選択の授業で展開、蔵前工業高校(定時制)では少人数制での授業内容でした。



写真9 発表風景 ①



写真10～11 発表風景 ②

授業改善等：

- ・プロジェクターやパソコンを用意したわりには、使用する場面が少なすぎた。
- ・導入部分の反復練習には使いやすい。
- ・プロジェクターが見づらい為、工夫が必要だ。
- ・シミュレーションソフトで印刷した問題を宿題に活用している。(解答もすぐに出せるので便利である)等の意見が出されました。

3. まとめ

建築構造設計は若い教職員が担当するケースも多く、担任意務の忙しさや専門的知識が身につけていない場合もあるだろう。そのような時にこのシミュレーションソフトを活用し、ファシリテーション力を高め、より高度な授業力を身につけ、生徒の未来をひらく「わかる授業」へと転換できることを望みたい。

参考文献：

- 小野里憲一他(2014)「変形を理解する構造力学」
彰国社
和田 章 他(2014)「建築構造設計」実教出版

11. 施工分科会 活動報告

千葉県立京葉工業高等学校

林 祐 介

1. はじめに

施工分科会では、平成26年度から「建築施工」と関連付けた「実習」指導について研究主題を設定し協議を重ねてきました。一昨年は型枠組立について、昨年は木工機械について、意見交換や実習等の研修・協議を実施しました。今年度は「測量実習」を研究主題として研究協議を重ねました。

測量実習において、レベルやトランシット、セオドライト等、基本的な操作方法の指導で実習を終えてしまう学校も少なくないのではないのでしょうか。現場でどのように測量技術が活用されているか生徒は理解できていないと推察されます。そこで、今年度の千葉大会では「実践に基づく簡略測量実習」～水盛り・遣方～と題して測量実習の教材について研究協議しました。

それでは、以下に山形大会以降の活動を報告いたします。

2. 活動報告

(1) 平成27年度 第3回 施工分科会

期 日：平成27年12月7日（月）

会 場：日本工学院専門学校蒲田キャンパス

山形大会における発表および研究協議の反省と、夏期研究協議会の反省を主な協議内容としました。また、千葉大会の分科会研究協議のテーマについて協議しました。建築施工と関連づけた実習という大枠の中で、鉄筋組立実習、足場実習など、色々な施工実習の取組みを研究主題とする案など、各校での取組みや課題の中から研究主題を見出すような協議となりました。色々な案が提案されましたが、測量実習を主題とすることに決まりました。しかし、詳細な内容については、次回の委員会で検討することとしました。

また、会場を提供していただいた片柳学園の蒲田キャンパスの再整備事業を研究視察しました。クラブハウス棟と多目的ホールの建設現場を視察させていただきました。特に地下の多目的ホールの現場については、普段入ることのできない地下まで所員の方に案内いただき、間近で施工の様子を見ることができ、貴重な研究視察となりました。



図1 視察風景

(2) 平成27年度 第4回 施工分科会

期 日：平成27年2月29日（月）

会 場：埼玉県立春日部工業高等学校

前回の研究協議で決まった研究主題「測量実習」の詳細な内容について、協議しました。各校での測量実習の取組み内容と測量実習における課題を協議するなかで、測量実習にあまり回数を確保できず、測量機器の操作方法を学ぶ程度しかできないという問題が見えてきました。測量も建築現場では多く使用される技術であり、建築現場でどのように測量技術が活用されているかも生徒に理解させる必要があると考えます。施工分科会委員が課題研究でウッドデッキを作製した際に用いられた測量内容を、簡易的に実習で取り組む方法を協議しました。工業基礎や実習は3時間程度です。その中で展開できるような意見交換を行いました。

(3) 平成28年度 第1回 施工分科会

期 日：平成28年5月24日（火）

会 場：埼玉県立大宮工業高等学校

前回の施工分科会の研究協議で行った測量実習について、実際に施工分科会委員で取り組みました。雨天や簡略化を考慮して、水杭を地面に打ち込むのではなく、組立て式として、簡易的に水盛りができる教材を作成し、授業展開のシミュレーションをしました。

水盛り・遣方を簡易的に実施する方法について協議するとともに、水盛り・遣方を指導する際の留意点などを確認しながら、各校での指導に還元できるような協議となりました。

(4) 平成28年度 第2回 施工分科会

期 日：平成28年7月5日（火）

会 場：埼玉県立大宮工業高等学校

千葉大会の発表資料の最終確認を行うとともに、発表練習を行いました。また、施工分科会元主査である田辺登先生を講師に招いて、発表内容について助言をいただきました。



図2 水盛り

3. 第66回東日本建築教育研究会千葉大会 研究協議会報告

期 日：平成28年8月4日（木）～5日（金）

会 場：ホテルグリーンタワー幕張

参加者：17名

テーマ：「実践に基づく簡略測量実習」～水盛り・遣方～

(1) 研究目的

実践に基づく水盛り・遣方の簡略測量実習の教材・指導方法について協議し、実務における測量技術の活用方法を生徒に理解させることができるような測量実習の授業展開の在り方及び教材研究の一助となることを目的とします。

(2) 協議会概要

埼玉県立大宮工業高校建築科の吉村先生が、課題研究で取り組んだウッドデッキの製作で使用した測量実習の内容を紹介したのち、施工分科会委員で協議し作製した水盛り・遣方の簡略的な測量実習の教材を使用して、参加者に実際に体験してもらいました。そして、最後に質疑応答、アンケートを実施しました。

(3) 発表内容

研究テーマの設定にいたるまでの経緯説明から発表がはじまりました。実習項目も多く、測量実習の実施時間が確保できない、必要な器械・器具の不足、実習場所が確保できない、天候に左右されやすいなどの理由から、測量機器の基本的な操作方法の指導にとどまり、建築の工事現場で、どのように測量技術が活用されているかを生徒は理解できていないと推察されます。その事例として、発表者の吉村先生がかつて課題研究で取り組んだ「ウッドデッキ製作」についてスライドを使用して紹介されました。

ウッドデッキの製作を通して、地杭の設置や水盛り・遣方、根切り、捨てコンクリート打ちなどの工程で、測量機器を使用した際、生徒が測量機器の使用方法とは別に、実務においてどのように測量技術が活用されているかが理解できていなかったという事例を紹介していただきました。レベルは高さを測定する機器、トランシットは水平角を測定する機器ということは理解していても、それがどのように建築現場で活用されているかを理解できていない。これらを理解することは「建築施工」を指導するうえでも有効なことであると考えます。

実務的な測量実習を実施したくても、前述したような理由からなかなか実施できない。そこで、実務に近い形で行う簡略的な測量実習の教材を施工分科会委員で検討したので、その教材について、スライドで説明されました。



図3 協議会風景



図4 測量実習の様子

提案された教材は、本来、地面に打込む水杭を、ユニット化することによって、地面に打込むことなくそのユニットを床に設置するだけで、室内でも水盛り・遣方が実施できるというものです。

実際に、協議会に参加された先生方に実習に取り組んでいただきました。作業内容は、①水杭ユニットの組立てと設置、②水準点の設定、③レベルの据え付け、④視準高の視準、⑤水準定規の作製、⑥水墨の測設、⑦水貫の取付け、⑧水系の取付けという一連の流れを、指導のポイント等を交えながら、協議会を実施しました。指導ポイントの一例として、水準定規の下ごしらえにおいて水準定規の下端は矩をしっかりととることや、水準定規のマークの仕方、水貫の上端は手押し鉋盤等で水平に加工すること、水系の縛り方などが説明されました。

今回の研究協議をもとに各校でも教材研究をしていただき、この教材および協議内容が会員方々に役立つことを期待します、と発表を閉めました。

5. おわりに

今年度、千葉大会においては「実践に基づく簡略測量実習」をテーマとして、水盛り・遣方の教材の提案と指導方法について紹介させていただきました。発表者による一方的な研究協議ではなく、参加していただいた先生方に体験していただく実習中心の協議会として企画しましたが、少しでも先生方のお役に立てたのであれば幸いです。今後も授業に役立つ教材も提供できれば、施工分科会としての活動意義が高まると考えております。

千葉大会における分科会研究協議会に参加していただきました先生方や賛助会員の皆様に感謝申し上げます。

また、アンケート結果をふまえ、研究テーマを精査し会員の皆様に役立つ資料が提供できるような分科会の活動をしていきたいと考えております。

現在、施工分科会は委員8名で活動しております。しかし、年数回の分科会の研究協議も、公務の関係等で出張が困難な委員も多く、限られた委員で活動しているのが現状です。私自身、他県の先生方との情報交換や研究協議など、委員としての活動自体が有意義な研修の場となっております。また、数年の間に複数の委員の先生が定年をむかえ、今後の分科会の活動は一層厳しい状況になってまいります。施工分科会の活動を継続するためにも、施工や実習指導に関心の高い先生におかれましては、施工分科会にお力添えいただきますようお願いいたします。

12. 平成27年度 第34回全国高校生建築製図コンクール結果報告

製図コンクール運営委員会

委員長 ト 部 寿々子

第34回全国高校生建築製図コンクールには、東日本建築教育研究会の加盟校および加盟校以外の先生方から、校務ご多忙にもかかわらず絶大なるご協力を頂きました事を厚くお礼申し上げます。

1. 応募状況

(1) 応募校数

| 応募校数 | | 全日制 | | 定時制 | | 加盟校 | | | | 加盟校以外 | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|
| | | | | | | 全日制 | | 定時制 | | 全日制 | | 定時制 | |
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 |
| 53 | 53 | 49 | 48 | 4 | 5 | 45 | 44 | 4 | 5 | 4 | 4 | 0 | 0 |

2. 応募作品数

(1) 課題1

| 応募校数 | | 全日制 | | 定時制 | | 加盟校 | | | | 加盟校以外 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|
| | | | | | | 全日制 | | 定時制 | | 全日制 | | 定時制 | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | | | | | | | | | | | | | | |
| 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | | | | | | | | | | | | | | |
| 45 | 114 | 42 | 110 | 41 | 106 | 40 | 106 | 4 | 8 | 2 | 4 | 38 | 98 | 36 | 94 | 4 | 8 | 2 | 4 | 3 | 8 | 4 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(2) 課題2

| 応募校数 | | 全日制 | | 定時制 | | 加盟校 | | | | 加盟校以外 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 全日制 | | 定時制 | | 全日制 | | 定時制 | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | | | | | | | | | | | | | | |
| 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 44 | 15 | 35 | 17 | 42 | 14 | 32 | 1 | 2 | 1 | 3 | 15 | 38 | 13 | 29 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 | 4 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(3) 課題3

| 応募校数 | | 全日制 | | 定時制 | | 加盟校 | | | | 加盟校以外 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 全日制 | | 定時制 | | 全日制 | | 定時制 | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | | | | | | | | | | | | | | |
| 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | 50 | 30 | 63 | 21 | 46 | 28 | 61 | 2 | 4 | 2 | 2 | 19 | 43 | 28 | 61 | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(4) 課題4

| 応募校数 | | 全日制 | | 定時制 | | 加盟校 | | | | 加盟校以外 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 全日制 | | 定時制 | | 全日制 | | 定時制 | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | | | | | | | | | | | | | | |
| 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 22 | 12 | 24 | 11 | 22 | 11 | 21 | 0 | 0 | 1 | 3 | 10 | 19 | 11 | 21 | 0 | 0 | 1 | 3 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(5) 課題5

| 応募校数 | | 全日制 | | 定時制 | | 加盟校 | | | | 加盟校以外 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 全日制 | | 定時制 | | 全日制 | | 定時制 | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | | | | | | | | | | | | | | |
| 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | 校数 | 作品数 | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 13 | 9 | 17 | 6 | 13 | 8 | 14 | 0 | 0 | 1 | 3 | 5 | 11 | 7 | 13 | 0 | 0 | 1 | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |

3. 各学校内における作品審査数の総計

(1) 課題 1

| 応募総数 | | 加盟校 | | 加盟校以外 | |
|------|------|------|------|-------|-----|
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 |
| 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 |
| 1312 | 1613 | 1264 | 1445 | 48 | 168 |

(2) 課題 2

| 応募総数 | | 加盟校 | | 加盟校以外 | |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 |
| 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 |
| 500 | 460 | 466 | 449 | 34 | 11 |

(3) 課題 3

| 応募総数 | | 加盟校 | | 加盟校以外 | |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 |
| 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 |
| 536 | 656 | 534 | 656 | 2 | 0 |

(4) 課題 4

| 応募総数 | | 加盟校 | | 加盟校以外 | |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 |
| 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 |
| 53 | 91 | 50 | 91 | 3 | 0 |

(5) 課題 5

| 応募総数 | | 加盟校 | | 加盟校以外 | |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 |
| 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 |
| 31 | 69 | 29 | 68 | 2 | 1 |

4. 各課題別の応募総数と入賞者一覧

(1) 課題1

| 応募総数 | | 加盟校 | | 加盟校以外 | |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 |
| 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 |
| 114 | 110 | 106 | 98 | 8 | 12 |

金賞

栃木県立真岡工業高等学校 建設科 1年 武井 杏奈

銀賞

愛知県立豊橋工業高等学校 建築・土木科 1年 瀬野ひかり

静岡県立浜松工業高等学校 建築科 1年 内田さや香

長野県飯田OIDE長姫高等学校 建築学科 1年 片桐 海月

銅賞

愛知県立豊橋工業高等学校 建築・土木科 1年 星野 健太

長野県飯田OIDE長姫高等学校 建築学科 1年 郷原 彩乃

山梨県立富士北稜高等学校 建築デザイン系列 2年 岡田美巴耶

山梨県立富士北稜高等学校 建築デザイン系列 2年 梶原 麻衣

入賞

愛知県立豊橋工業高等学校 建築・土木科 1年 牧野 有華

埼玉県立春日部工業高等学校 建築科 1年 川田 太郎

栃木県立宇都宮工業高等学校 建築デザイン系 1年 岩井真央里

栃木県立宇都宮工業高等学校 建築デザイン系 1年 黒崎 沙月

埼玉県立熊谷工業高等学校 建築科 1年 新井 美優

栃木県立真岡工業高等学校 建設科 1年 中村 望希

山梨県立甲府工業高等学校(定時制) 建築科 2年 三井 舞

(2) 課題2

| 応募総数 | | 加盟校 | | 加盟校以外 | |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 |
| 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 |
| 44 | 35 | 40 | 32 | 4 | 3 |

金賞

岐阜県立岐南工業高等学校 建築科 2年 若井 春樹

銀賞

長野県飯田OIDE長姫高等学校 建築学科 2年 三浦 衣織

愛知県立一宮工業高等学校 建築科 2年 水流 春貴

愛知県立佐織工業高等学校 建築科 2年 平田 祐貴

入賞

山梨県立甲府工業高等学校 建築科 2年 金子 桃子

山梨県立甲府工業高等学校 建築科 2年 前田 璃来

栃木県立宇都宮工業高等学校 建築デザイン科 2年 阿久津若菜

神奈川県立神奈川工業高等学校 建設科 2年 坂上 廉

愛知県立碧南工業高等学校 建築科 2年 江川英璃奈

岐阜県立岐南工業高等学校 建築科 2年 徳永啓之介

山梨県立甲府工業高等学校(定時制) 建築科 3年 須田光一郎

長野県飯田OIDE長姫高等学校 建築学科 2年 矢澤 舞

(3) 課題3

| 応募総数 | | 加盟校 | | 加盟校以外 | |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 |
| 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 |
| 50 | 63 | 47 | 63 | 3 | 0 |

金賞

新潟県立上越総合技術高等学校 建築・デザイン科 3年 横田 理紗

銀賞

新潟県立上越総合技術高等学校 建築・デザイン科 3年 小出 里保

銅賞

愛知県立豊橋工業高等学校 建築科 3年 山田 南奈

愛知県立一宮工業高等学校 建築科 2年 松本竜之介

愛知県立碧南工業高等学校 建築科 3年 滝澤 遥香

長野県飯田OIDE長姫高等学校 建築学科 3年 福本 雅広

入賞

愛知県立豊橋工業高等学校 建築科 3年 南大津 懸

愛知県立半田工業高等学校 建築科 3年 井上 健太

愛知県立半田工業高等学校 建築科 3年 伊比井海斗

愛知県立一宮工業高等学校 建築科 2年 山田 大貴

愛知県立碧南工業高等学校 建築科 3年 有津 瑠奈

東京都立墨田工業高等学校(定時制) 総合技術科 4年 首代 佑治

(4) 課題4

| 応募総数 | | 加盟校 | | 加盟校以外 | |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 |
| 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 |
| 22 | 24 | 19 | 24 | 3 | 0 |

金賞

長野県飯田OIDE長姫高等学校 建築学科 3年 塩澤 崇夢

銅賞

愛知県立佐織工業高等学校 建築科 2年 佐々木栄治

愛知県立佐織工業高等学校 建築科 2年 田中 翔輝

栃木県立真岡工業高等学校 建設科 2年 秋山 侑紀

栃木県立真岡工業高等学校 建設科 2年 細谷 一樹

入賞

愛知県立半田工業高等学校 建築科 2年 松田 純弥

愛知県立愛知工業高等学校 建設科 3年 川口 亮

岐阜県立岐南工業高等学校 建築科 2年 篠田 海

栃木県立真岡工業高等学校 建設科 2年 小幡ののか

(5) 課題5

| 応募総数 | | 加盟校 | | 加盟校以外 | |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|
| H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 |
| 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 | 作品数 |
| 13 | 17 | 11 | 16 | 2 | 1 |

金賞

千葉県立市川工業高等学校 建築科 3年 大角 日和

銀賞

岐阜県立可児工業高等学校 建設工学科 3年 中野 琉風

栃木県立真岡工業高等学校 建設科 3年 中川 理渚

銅賞

栃木県立真岡工業高等学校 建設科 3年 見目 大知

入賞

松山聖陵高等学校 建築科 2年 北野 佑香

岐阜県立可児工業高等学校 建設工学科 3年 清水 魁

埼玉県立春日部工業高等学校 建築科 3年 新井 勇利

埼玉県立春日部工業高等学校 建築科 3年 中島 航輝

5. 審査について

(1) 賞の選出

- ①各課題最高作品を金賞とし、順次銀賞銅賞入賞とする。
- ②各課題定時制課程参加作品から入賞以上を選出する。

(2) 審査方法

①一次審査

- ア. 審査は委員全員で行う。
- イ. 原図を使用する。
- ウ. 各課題参加数の1/5程度(最大20点程度)を目安に絞り、入賞作品の対象とする。
- エ. 審査基準は、各課題の観点に従う。
- オ. 作品を相対的に比較する。

②二次審査

- ア. 審査は委員全員で行う。
- イ. 表題欄をカットする。
- ウ. 複写図面を使用し、チェックを書き込む。
- エ. 入賞作品以外の作品で再度入賞以上に該当するものがないか確認する。

③最終決定

- ア. 最終決定を投票で行う。

(3) 課題別審査の観点

①課題1「軒先マワリ詳細図」

- ア. 図が正確に描かれているか。(部材の大きさや厚み・金物等の形状・部材相互の距離等)
- イ. 明瞭な図であるか。(線の使い分け・線の始端から終端までが均一な太さ、濃さであるか)
- ウ. 文字や数字は明瞭で正確であるか。(抜けている、大きすぎる、小さすぎる、形状がバラバラ等)
- エ. その他
松丸太に関して
・太鼓落しを表現する曲線はフリーハンドより定規使用の方が良い。
※ただし曲線がフリーハンドで描かれていても失格ではない。
野縁に関して
・位置は軒桁中心から測られているか。
天井に関して
・位置が製図例2-6に基づいているか。
線の使い方に関して
・下書き線が濃すぎないか。
・仕上げ線(断面線)が極端に太すぎないか。

②課題2「木造平家建専用住宅」

- ア. 敷地の配置、外構計画に工夫があるか。
- イ. 平面図は正確に描かれているか。(教科書3章に準じているか)
- ウ. 立面図に工夫があるか。(窓の形状や種類、位置等が平面図と異なっていないか)
- エ. 断面図に工夫があるか。(屋根形状を生かした内部空間であるか)
- オ. 屋根の形状に工夫があるか。(機能を充たす屋根の形状であるか)
- カ. 図面相互に違いがないか。
- キ. 明瞭な図であるか。(線の使い分けが正しい

- ク. 製図規約を重視しているか。
- ケ. その他

配置図兼平面図に関して

- ・道路境界線、隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
- ・隣地境界線を実線で描く等、線の使い方を間違えていないか。
- ・床の仕上げを表現していないか。
- ・ロフトを計画した場合はそれを描いているか。

立面図に関して

- ・全体的なバランスが良いか。

断面図に関して

- ・平面図に記された切断線の位置とのくい違いがないか。
- ・ロフトを計画した場合はそれを描いているか。
- ・ロフトの天井が極端に高くないか。

屋根伏図に関して

- ・水勾配や寸法が記入されているか。
- ・屋根仕上げに用いた材料名称が描かれているか。
- ・断面線の表示がされているか。

③課題3「木造2階建専用住宅」

- ア. 計画性を重視する。
- イ. 配置・平面・立面・断面・外構の計画に工夫があり機能的であるか。
- ウ. 構造的に無理がないか。
- エ. 製図規約に配慮しているか。
- オ. その他

設計主旨に関して

- ・主旨と計画に違いがないか。

配置図兼平面図に関して

- ・道路境界線、隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
- ・家族構成に対して、所要室や各室の面積に配慮しているか。
- ・将来的に高齢者に配慮した計画であるか。
- ・外構計画において高低差に配慮しているか。
- ・車と駐車スペースの大きさや表記方法に間違いがないか。
- ・平面図に家具が記入されているか。
- ・平面図に柱や通し柱が抜けていないか。
- ・平面図に記された階段の段数は正確か。
- ・平面図に記された階段には、手すりを設けているか。

立面図に関して

- ・平面図とのくい違いがないか。
- ・全体的なバランスが良いか。

断面図に関して

- ・切断位置が開口部を含む位置であるか。
- ・形状が不適切でないか。(異常に高すぎる、低すぎる)
- ・高さに関する寸法の記入があるか。

④課題4「木造平家建専用住宅」(CAD製図)

- 注意：2枚提出されているか。(1枚しか提出されていない場合は失格とする)

- ア. 敷地の形状や配置・外構計画に工夫があるか。
- イ. 平面図は正確に描かれているか。(教科書第3

章に準じているか)

- ウ. 立面図に工夫があるか。(窓の形状や種類、位置等が平面図と異なっていないか)
 - エ. 断面図に工夫があるか。(屋根形状を生かした内部空間であるか)
 - オ. 屋根の形状に工夫があるか。(機能を充たす屋根の形状であるか)
 - カ. 図面相互に違いがないか。
 - キ. 明瞭な図であるか。(線の使い分けが正しいか)
 - ク. 製図規約を重視しているか。
 - ケ. その他
 - ・ロフトを計画した場合は、それを平面図や断面図等に描いているか。
 - ・手書き表現で描かれているか。(CAD特有の表現のままでないか)
- ⑤課題5「木造2階建専用住宅」(プレゼンテーション作品)
- 注意: 2枚提出されているか。(1枚しか提出されていない場合は失格とする)
- ア. プレゼンテーション・表現を重視する。(プレゼンテーションとつくりだされている作品が一致しているか)
 - ・パース、模型、説明、着色等で判断する。
 - イ. 製図規約については重視しない。
 - ウ. その他
 - ・計画や表現はオリジナリティがあるか。
 - ・各図面間での整合性はあるか。
 - ・縮尺については重視しない。
 - ・表面に氏名等を記入しない。

6. 審査講評

(1) 課題1 軒先マワリ詳細図

金賞図面は、一文字一文字丁寧に描かれているだけでなく、線1本にも魂が込められているかのようになどの線もメリハリがあり、大変美しく素晴らしい作品でした。努力の賜物です。

金賞以外の図面についても、文字が整っており、美しく丁寧に描かれている作品もありましたが、基本的な部材の寸法の正確さに欠けている図面が目立ちました。

【アドバイス】

次年度は、文字や数字の丁寧さ、正確さだけでなく、基本寸法の正確さを身につけ、明瞭な線が描けるように努力してください。

(2) 課題2 木造平家建専用住宅

金賞図面は、平家の範囲内で大変工夫されており、丁寧に作図された緻密で素晴らしい作品でした。また、立面図だけでなく、造園計画からも和の雰囲気が溢れ出し、統一感がありました。さらに、線や文字数字等の美しさなど基本的な製図の技術も高く、大変優れた図面でした。

金賞以外の図面についても、造園計画がまとまっており、細かい部分まで丁寧に表現されている図面もある一方で、全体的にメリハリがなく、基本的な作図力が不足している作品も見受けられました。

【アドバイス】

次年度は、特に記載漏れが多い屋根伏図に留意し、基

本的な作図力の向上を期待します。

(3) 課題3 木造2階建専用住宅

金賞図面は、基本的な作図力も高いが、それ以上に細部まで大変丁寧に陰影が描かれており、表現力の大変豊かな素晴らしい作品でした。

金賞以外の作品についても、丹精込められた作図が見受けられたが、記載漏れや構造的に問題のある作品や道路と敷地との高低差が考慮されていない作品も見受けられました。

【アドバイス】

次年度は、基本的な作図の知識や構造、法的規制等を総合的にとらえた個性豊かな作品を期待します。

(4) 課題4 木造平家建専用住宅(CAD製図)

金賞図面は、基本的な作図が正確であり、なおかつ、造園計画や立面図、断面図の細々としたところまで工夫を凝らし、大変表現力の高い作品でした。

金賞以外の図面についても、全体的にバランスよく作図されており、メリハリがしっかりしている作品がある一方で、線の使い分けが表現されていない作品が多く見受けられました。

【アドバイス】

次年度は、計画性を重視した作品でありながら、オリジナリティ溢れる表現などを取り入れた作品を期待します。

(5) 課題5 木造2階建専用住宅(プレゼンテーション作品)

金賞図面は、素朴で温かみがあり、イラストなどを活用してわかりやすいプレゼンテーション作品でした。

金賞以外の図面についても、作品数が少ないながらも、インパクトがある作品や、模型を丁寧に作り全体的にまとまっている作品など、各々の工夫が見受けられました。

【アドバイス】

次年度は、様々なプレゼンテーションの手法を取り入れ、発想を大事にした、形式にこだわらない作品を期待します。

平成28年4月1日

製図コンクール運営委員長 卜部 寿々子

13. 資格取得推進委員会 活動報告

群馬県立前橋工業高等学校

石井直樹

1. 「2施工」試験制度について

「2施工」試験制度は、2014年12月16日の官報（号外第281号）に下記の内容が掲載され今年度から施行されました。

1. 受験資格：当該学科試験が行われる日の属する年度末における年齢が17歳以上の者。
2. 有効期間：合格発表の日の属する年度の末日から起算して11年以内。

また、今年度から「建築」「躯体」「仕上げ」の分野を選んで受検する事ができるようになりました。

高校会場も昨年度の6会場から、今年度は「盛岡、長崎」が新たに加わり8会場になりました。

この様な政策が、建設業界の「若年者担い手育成」に繋がってくれる事を期待しています。

2. 「2施工」指導者講習会について

例年、富士教育訓練センター様のご協力を得て実施してきましたが、今年度は、希望者が3名で5名に満たず実施できませんでした。

参考までに、今年度の予定を下記に記載させていただきます。

日時 平成28年9月10日（土）9:00～16:00

会場 富士教育訓練センター 東京事務所

①試験の傾向と対策 ②過去問題からの傾向 ③法規

費用 個人負担10,000円

（講習費20,000円の内、「日建連」様が半額負担）

3. 「2施工」試験の生徒に対する指導について

平成28年1月7日（木）に、(株)総合資格学院様、(株)日建学院様、富士教育訓練センター様へ今年度中を目処に、「2施工」試験の生徒に対する指導の実施の有無も含め、ご理解・ご協力の検討をお願いしました。

上記の団体様による「模擬試験」や「DVD講習」を既に各都道府県で実施している学校もあると思いますが、組織的に実施していただける様をお願いしています。

4. 研究者、教育者の1級建築士受検認可要望について

1級建築士試験は国土交通省住宅局建築指導課が「建築士法」を管轄しています。

大学・専門学校関係者へ受検認可要望の協力要請をしましたが、ご理解・ご協力を得る事ができませんでした。

しかし、全国工業高等学校長協会 前事務局長の瀧上文雄先生に相談したところ、高校単独での陳情活動に関してご理解を賜りました。

全国高等学校建築教育連絡協議会 前会長 小林晶代校長先生と瀧上先生に陳情書(案)の承認を得ています。

「2施工」試験制度の見直しの際にお世話になった、(一社)日本機械土工協会 常務理事 保坂益男様と、本研究会の元資格委員長だった岡田義治先生（日本建築士会の会誌編集委員長 理事、名誉会長・相談役）にも相談しています。

全工建協 新会長 三神幸男校長先生に今までの経緯を説明し、ご理解・ご協力を賜りました。

全工協 新事務局長の山田勝彦先生とも相談しながら活動していきたいと思っております。

5. 全国工業高等学校長協会のジュニアマイスター顕彰制度について

本研究会を代表して石井がジュニアマイスター顕彰委員会に参加させていただいています。

「2施工」試験のポイントが20ポイントになり、例年より多くの生徒が追加申請をする事ができています。

6. 文部科学省委託事業（コンソーシアム）について

本研究会を代表して石井が標記事業に参加させていただいています。

日本工学院専門学校様において、建設ITにおける「BIM」「CIM」教育カリキュラム、学卒時に身に付ける能力、スマート技術として家電製品協会が打ち出した「スマートマイスター」制度に基づく資格取得に向けた教育、多摩地区での実証講座、海外展開実証講座、ドローン技術活用講座、地域モデルの在り方等について検証・検討を重ね、4年間の教育カリキュラムがまとまりました。

今年度は、BIM、CIM教育の実践授業展開と、八王子周辺の企業様とも連携・協力をして多摩地区モデル委員会を設置し、より具体的な教育内容の検討を実施しています。

また、海外で活躍する人材育成の在り方と、社会人を対象として学び直しの講座開設等のカリキュラムの検討を実施しています。

7. 「吊り天井」施工の法改定について

一般的に、法改定されて内容の周知徹底が図られた時期に資格試験で出題される傾向が見られます。

吊り天井に関しては、法改定がされて今年が3年目になりますので、「2施工」試験でも近年中に出題される事が予想されます。

この法改定は、東日本大震災で多くの吊り天井が落下した事を受けて施行されています。

詳細は国交省のHPをご覧ください。

（平成26年4月1日施行）

<http://www.mlit.go.jp/common/001009501.pdf>

概要は下記の5つになります。

1. クリップ、ハンガー等の接合金物はねじ留め等による緊結施工をする必要があります。
2. 吊りボルト、斜め部材等は密に配置する。
A：吊りボルト1本/m²。
B：強化した斜め部材は基準に従って算定される組数。
3. 吊り長さは、3m以下で概ね均一にする。
4. 設計用地震力（水平方向）は、最大2.2Gに耐えられる様にする。
5. 吊り天井の周囲のクリアランスは、原則6cm以上で施工する。（地震の際に、吊り天井が周囲から破壊された事を考慮して周囲に隙間を設ける事になりました。）

8. 建設業法で、「監理技術者の配置」が必要な建設工事等の金額要件の引き上げ改定について

監理技術者配置の金額要件が法改定されています。

（平成28年6月1日施行）

詳細は国交省のHPをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo13_hh_000409.html

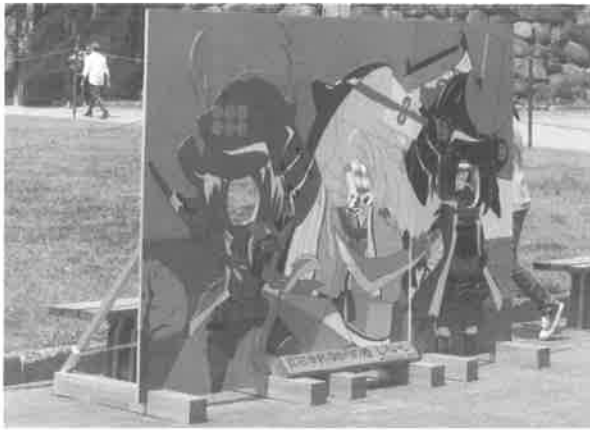
14. 宮城県報告

仙台市立仙台工業高等学校
五十嵐 昭博

1. 宮城県白石工業高等学校 建築科

昭和37年4月開校の本校は、今年度創立55周年を迎えます。現在は機械科・電気科・建築科・工業化学科・設備工業科の5科6学級あり、雄大な蔵王の山々を西に見上げ、学校からは白石市街を一望できます。校訓である「誠実」のもと、文武両道の精神で生き生きと楽しく、学業・資格取得・部活動・学校行事等に取り組んでいます。建築科は近年女子生徒数が増加の傾向にあり、現在1/3の割合です。2年生でのインターンシップは、企業や行政機関での実体験を通して専門分野への就職を固める生徒が少なくありません。企業を招いて実施するインターンシップ報告会は、プレゼン技術や自己表現力を磨く場となり、企業からも好評を得ています。

本校では地域連携による人材育成を目標にし、地域貢献や情報発信に力を入れています。建築科では、新幹線駅での作品展示やホテルから依頼された陳列台の製作、保育園や幼稚園への自作おもちゃの寄贈を行っています。また、白石市の依頼を受け、建築部の生徒が白石城公園内の「案内標柱」や「顔出しパネル」の製作を手がけ、地域の観光PRに貢献しています。みやぎ県民大学学校開放講座を2年連続で担当し、3Dプリンターやレーザー加工機を用いた「オリジナルグッズづくり」は参加者に大好評でした。



白石城顔出しパネル（地域連携）

2. 宮城県古川工業高等学校 建築科

昭和9年4月12日、古川商業専修学校として開校し、昭和19年3月11日、土木・建築の2科を置く工業学校に転換、宮城県古川工業学校と改称し、23年4月1日教育制度改正により宮城県古川工業高等学校と改称された。昭和24年4月1日電気科設置、昭和34年3月31日機械科設置、昭和38年4月1日化学工学科が設置された。現在は、学科名の変更等があり、土木情報科・建築科・電気電子科・機械科・化学技術科の5学科を設置し、今年度創立82年になる。校章は、萩の葉の大地にF・T・Hの三文字を浮き彫りにしてあり、Furukawa Technical High schoolの頭文字を表している。また、Fは友愛（Friendship）、Tは誠実（Truth）、Hは勇気・健康（High spirits・Health）の意味が込め

られ、校訓となっている。

建築科の目標は「建築に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における建築の意義や役割を理解させるとともに、地域や産業界との連携を図り、また、就業体験を通し職業観や倫理観を養い、建築と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる」としている。

特に循環型社会に貢献できる産業人材の育成に力を入れ、地域との連携を密に図りながら、生徒の個に応じた教育活動や、工業に関する専門的な知識や技能の習得に努めている。

部活動も非常に盛んで、2011年には、野球部が甲子園出場を果たしている。また、自転車競技部・柔道部・スキー部がインターハイ常連校、ダンス部も毎年、全国大会に駒を進めている。



古川工校舎

3. 宮城県石巻工業高等学校 建築科

本校は昭和38年に開校され「堅忍不撓」を校訓として掲げています。この言葉の意味は「じっと困難に耐え抜くのみではなく、それを切り拓く、芯の強い人間、強い責任感と、まじめな生活態度に徹した人間育成を目指すもの」とされており、本校の生徒はこの校訓のもと日々勉学に励んでいます。

開校当時は機械科2学級、電気科2学級、土木科1学級、工業化学科2学級の4学科7学級でしたが、その後、男女共学化などを経て平成15年に機械制御科（2学級）、電気情報科（1学級）、土木システム科（1学級）、化学技術科（1学級）として学科改編、新たに建築科1学級を設けました。平成26年には機械制御科が名称を機械科に変更し、現在は5学科6学級の学科構成となっています。

平成23年の東日本大震災で被害を受けた際には、全国の皆様からのご支援をいただきましたことに、大変感謝しております。ご支援のお陰で、現在では機材なども震災以前と同様に使用することができるようになりました。実習などの授業も平常時と同じ内容を行えるまでに回復しています。この場をお借りし感謝御礼申し上げます。本校建築科は基礎的・基本的な知識と技術の習得とともに、思いやりのある誠実な人間性を育成することを目標として掲げています。特に2年次に木造2階建専用住宅、3年次にはRC造の商店建築の自由設計を全員が

行うことで基礎・基本の習得を目指します。また外観パースや模型製作を行い、最終的にプレゼンテーションを行うことで図面を総合的に表現できる力が身に付く指導をしています。さらに手描き製図に加えてCADを用いて図面を描くことで精度が増すとともに、理解を深めることができます。

課題研究の授業では、みやぎクラフトマン21事業やマイスター制度を利用し、実務に携わる熟練技能者の方をお招きし、実寸大の倉庫をはじめ生徒の技術向上を目指して指導しています。



製図の様子



熟練技能者による指導

4. 仙台市立仙台工業高等学校 建築科

本校全日制課程は、明治29年（1896年）に仙台市徒弟実業学校として仙台市上杉の地に歴史の第一歩を刻み、今年度、創立120周年を迎える歴史と伝統を誇る工業高校です。建築・機械・電気・土木の四学科を有し、基礎学力および専門知識・技術・技能の確かな習得と深化および課外活動・学校行事の活性化を図り、魅力と活力ある教育展開を推進し、人間性豊かな工業人の育成に努めています。

昨年度は、各種コンテスト入賞、難関である資格を取得するなど、これまでにない高い実績を残しました。

- ①高校生ものづくりコンテスト木材加工部門
宮城県大会優勝 東北大会出場
- ②みやぎ未来賞（宮城県建築士事務所協会主催建築設計コンペ）大賞（第1位）
- ③2級建築施工管理技士 20名合格
（合格率76.9%・全国8位）
- ④建築CAD検定2級合格
- ⑤建築大工技能検定2級合格
- ⑥デュアルシステム
（建築現場及び建築設計業務等の実習10日間）
- ⑦インターンシップ（建設会社・設計事務所・市役所・大学での実習3日間）2年生全員
- ⑧地域貢献Ⅰ（ものづくり出前授業 木材加工教室）
- ⑨地域貢献Ⅱ（ボランティア 高齢者住宅の手摺・家具耐震補強取付）
- ⑩ジュニアマイスター認定・建築科
ゴールド5名 シルバー8名 ブロンズ8名



インターンシップ（建設現場）

5. 仙台市立仙台工業高等学校（定時制）建築土木科

本校定時制課程は大正4年（1915）に仙台工業補習学校として開校し、今年度で創立100周年を迎える。本課程は時代の変遷とともに改編を経て、平成22年（2010）に独立校であった仙台第二工業高等学校から仙台市立仙台工業高等学校定時制課程となった。現在は建築土木科と機械科の2科（4学年8学級）である。

本校生徒の「働きながら学ぶ」日々の生活から、教育目標に強い意志と信念である「不撓不屈」の精神を第一に掲げ、知・徳・体の調和のとれた成長と、実践的職業能力および勤労観を育成することを目指している。そのため教育活動も盛んで、技能士検定などを中心に工業科の専門性を生かした資格を取得したり、部活動でも運動部が全国大会（定時制通信制体育大会）で活躍したりしている。

建築土木科は1学年で建築と土木に関する基礎・基本を広く学習し、2学年からは建築コースと土木コースに分かれ、それぞれの専門分野を学習している。また、産業界から講師を招き、地質調査や測量技術、大工技能などの実践的な講習を行い、広く活躍できる人材の育成を目指している。



地質調査実習

15. 埼玉県報告

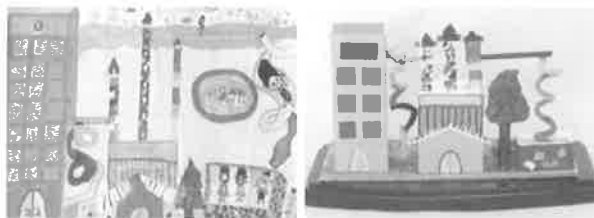
埼玉県立春日部工業高等学校

佐藤 剛

1. 埼玉県立大宮工業高等学校【全日制】 建築科

大正14年に開校し創立91年目を迎える伝統ある工業高校である。「至誠一貫・質実剛健」を校訓とし、「人間性豊かな、地域産業を担う職業人の育成」を目指している。設置学科は機械科、電子機械科、電気科、建築科の4学科があり、2年生からコース制を取り入れており、各科の専門コースか大学進学者向けのカレッジコースを選択し学ぶことができる。

本校では、地域との連携に重点を置き積極的な交流を目指している。近隣の小・中学校や児童館での出前講座や2年生でのインターンシップを精力的に行い、工業高校の魅力を伝えている。3年前からは夏休みに小学生対象の「すてきなタテモノアイデアコンクール」という絵画コンクールを開催しており、出展作品の中から優秀賞に選ばれた作品を模型にして寄贈することを課題研究で取り組んでいる。表彰式は文化祭にて実施しており、出展作品の展示も行っている。児童が思い思いに描いた作品を模型として再現するのは非常に困難な作業ではあるが、受賞された生徒へ手渡された時の評判は上々である。



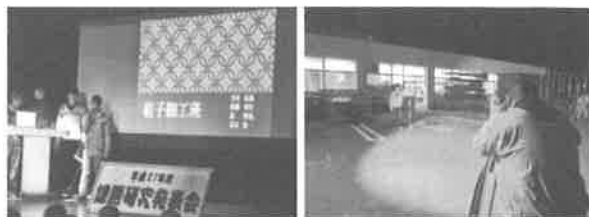
2. 埼玉県立大宮工業高等学校【定時制】工業技術科

本校は、大正14年に夜間の工業学校である大宮町立工業学校として開校しました。平成12年には単位制を導入し、建築、機械、電気の3学科が統合した工業技術科が設置されました。その後、幾多の変遷を経て、昨年度に創立90周年を迎えました。現在は、3年次以降に建築コース、機械コースに分かれて学習を行っています。また、本課程では「学び直し」に注力しており、1時限目開始前の補習授業である「0時限目」、生徒一人一人の学力に合わせた「少人数習熟度別学習」などの取り組みを行っています。

本科では、次の4点を教育の主軸としています。①将来のスペシャリストとして必要な知識、技術及び技能、並びにそれらの活用法の習得。②主体的に学習に取り組む態度と、職業人として必要な人間性の育成。③ものづくりにおける共同作業を通しての言語活動の充実及び、コミュニケーション能力、協調性などの育成。④、異分野の技術・技能を融合・組み合わせ、新しい製品や生産プロセスを創造する能力の育成。これらを4年間の高校生活で習得させるための指導を行っています。

また対外的な活動も積極的に行っています。近年の具体的な取り組みとして、ものづくりコンテスト埼玉県大会に10回目にして初出場、地域貢献のために地元の小学生を対象とした工作講座「夏休み宿題お助け隊」、高

大連携の一環として大学からの依頼を受けての出前授業「木工教室」などを実施しています。



3. 埼玉県立春日部工業高等学校 建築科

本校は昭和39年4月1日に機械科2クラス・建築科2クラスでスタート、後に機械科が1クラス増、58年に電気科2クラスが新設され、1学年7クラスで18年続くも平成12年機械科が1クラス減となり3科ともに2クラスとなり、1学年6クラス、全校720名で現在に至っている。校地面積45,000㎡・国道16号沿いで北東には古利根川が流れ、東武スカイツリー線北春日部駅より徒歩3分の良好の環境である。本校では資格取得に力を入れており、特に電気工事士二種取得者数は毎年全国上位のランキングを維持している。建築科の生徒は近年70%が就職、技能職・技術職へ、30%が進学、大学・専門学校と半々に建築関係へ指定校推薦等にて進路決定としている。

学科では“ものづくり”を通して“人づくり”を目標に、製図・実習・課題研究等の授業に取り組んでいる。課題研究では、設計・施工の班に分かれ、生徒の自主的な活動を支援。設計コンペ・文化祭アーチ製作・地域イベントへの参加など幅広い活動を実践。

設計・施工の二本柱を軸に、製図コンクール・設計コンペ、各種検定（CAD・建築大工・とび）・ものづくりコンテストへ挑戦。上位入賞・検定取得に力を入れている。また、施工管理技士2級学科取得や、インターシップ・プロフェッショナルに学ぶ、県建設業協会の支援による現場見学会・小型建設車両講習会など実践的な活動を行い広く活躍できる人材の育成をめざし取り組んでいる。

さらに小中学校への出前授業・デザインコンクールの実施、イベントへの参加・地域との連携を通して工業高校の積極的な発信を行っている。



4. 埼玉県立川越工業高等学校 建築科

明治41年創立し、来年度110周年を迎える埼玉県内で最古の工業高校です。約19,000人の卒業生が産業界で幅広く活躍しています。校訓「誠実・勤勉・創意」のもと、これまでの歴史と伝統の中で培ってきた工業高校ならではの教育活動をとおして、新しい時代が求める技術者を育成してまいりました。

5学科（デザイン、化学、建築、機械、電気）の特色が異なる学科が設置され、7学級規模の工業高校は県内では本校のみとなります。それぞれが引き立てあい、切磋琢磨する様子は日々の授業や行事、文化祭（工業祭）を見ると一目瞭然です。ここ最近では、電気科の高校生の手作り電車がギネス記録を取得し世間から注目を浴びるなど、実践的な活躍と生徒の自主性がマッチした教育活動が主流となりつつあります。

本校建築科は、「人間力の向上に根差した実践的な建築技術者の育成」を目標に1学級40人で構成されています。

1学年では、工業基礎内で近隣の山の林業体験（森林保全活動）を通じ、郷土埼玉のみどりの再生に貢献し環境意識の向上を目指しています。また、建築技術者として木材がどのような過程を経て実際の現場で使われるか体験を通じ学んでいます。

課題研究では、「ものづくり体験班」と称し地域の小中学生を対象とした木工体験を自主的に企画運営するパートを設けています。今年度は近隣百貨店においてものづくり体験イベントやNPO法人「子ども大学かわごえ」主催の木工体験、川越産業フェスタでの体験など1年を通じ様々な団体と連携し活躍しています。ここでは、ものづくりの技術力だけではなく、人と接することによるコミュニケーション力の育成にも繋がる活動と位置付けています。

卒業生の進路は昨年度、就職（建設業関連）が51.3%、大学（私大）が17.9%、専門学校が10.3%、縁故自営その他で20.5%となっています。昨今の建築需要に連動し建設関係の求人数は年々増加傾向にあります。



5. 埼玉県立熊谷工業高等学校 建築科

本校は昭和41年熊谷商工高等学校から分離独立し、県下の名門工業高校として着実に成果を上げ、本年、51年目を迎えました。今日の「ものづくり創造立国 日本」の、礎となる有為な人材として多くの卒業生を輩出し、その活躍と実績は産業界で高く評価されています。建築、土木、機械、電気、情報技術の5学科を有し、県内でも類を見ない工業高校です。社会のインフラ整備には無くてはならない科目を生徒達は日々学んでいます。

各種コンテスト入賞、難関である資格取得、その他地域連携事業など目覚ましい成果を上げています。

- ・ 建築施工管理技士学科試験 3年生 15/35 名合格
- ・ レタリング検定4級 1年生 39/40 名合格
- ・ 計算技術検定3級 1年生 39/40 名合格
- ・ パソコン検定4級 1年生 39/40 名合格
- ・ 小型車両系建設機械特別教育 2年生 41/41 名合格
- ・ 技能検定3級とび 6名合格
- ・ 技能検定2級とび 1名合格
- ・ 技能検定3級大工 10名合格
- ・ 技能検定2級大工 1名合格
- ・ ジュニアマイスター ゴールド3名 シルバー1名
- ・ 高校生ものづくりコンテスト
木材加工部門埼玉大会 1位 2位
木材加工部門関東大会 1位 3位
- ・ 高校生ものづくりコンテスト木材加工部門全国大会 出場
- ・ 技能五輪全国大会とび部門4年連続出場
第54回技能五輪全国大会とび部門 敢闘賞
- ・ 日本大学コンペ 優秀賞（3年連続受賞）
- ・ 日本工業大学コンペ 3年連続 入賞
- ・ 道都大学住宅設計コンクール 5年連続 入賞
- ・ あったらしいなこんな家2016デザインコンテスト
（〇〇にプレゼントしたいおうち）熊谷市内小学生応募総数137点など今年で10回目を迎えました。



16. 東京都の建築教育の現状

東京都蔵前工業高等学校

米川 誠 次

1. 東京都立蔵前工業高等学校 全日制 建築科

本校は、大正13年に前身の東京市立浅草工業専修学校として設立され、本年度で創立92年を迎え、産業界に多数の卒業生を輩出しています。

平成16年には、東京都教育委員会より「リーディング・テクニカル・ハイスクール構想」のスペシャリスト型として指定され、どちらかといえば進学型の工業高校と位置づけられていました。しかし、平成23年度からは、本来あるべき工業高校として、ものづくり教育の充実に取り組むことができるように、教育課程の見直しや段階的な変更を行い、「ものづくり教育の充実」と「スペシャリストの育成」を重点に取り組んでいます。

平成21年には、ものづくり人材育成プログラムの「特定分野推進校」に指定され、一流技能士や匠を講師として招聘し、在校生が直接、講師の方より技術・技能の指導を受けられるのが、本科の特徴です。具体的には、1級大工技能士による「高度な木材加工技術を活かしたものづくり講座」、「金物を一切使わない伝統貫工法による木造住宅の施工の実習・講演会」や海外において活躍されている1級建築士等による「日常を通して建築の面白さ、建築業界で働く建築士・建築家についての講演会」などを実施している。

さらに、朝・放課後・休日を利用して、「技能検定2級(大工)」「2級建築施工管理技術検定(学科)」等の資格取得、「建築甲子園」等のコンペ・作品展への出展、高校生ものづくりコンテスト(木材加工部門)の出場に、建築科の生徒がチャレンジしています。



2. 東京都立蔵前工業高等学校 定時制 建築工学科

本校は、大正13年に東京市立浅草工業専修学校として開校し、高等専修科とともに夜間部が設立されました。平成11年から定時制は建築工学科となり、1学年1学年定員30名の4年制の夜間定時制高校です。

本校の教育活動の特色は、以下の通りです。

- ①3修制。4年間でじっくり学び着実に力を付けるのが基本ですが、1日6時間の学内の授業での単位修得のみで3年間での卒業が可能な制度を導入しています。
- ②専門教科では建築と設備について学びます。1・2学年では共通の内容で実施し、3学年以降からは選択でどちらかを主に学びます。
- ③建物を造る際に必要な仮設工事・躯体工事・仕上げ工事・電気設備工事・施工管理等について数多くの職種の内容を、実習等を通じて体験させ、卒業後の進路実現に繋げています。また、建物見学をはじめとし、ものづくりマイスター制度の活用や富士教育訓練センターでの職業体験などもカリキュラムの一環として取

り入れています。

- ④資格。近年合格している主な資格は、技能検定3級(とび・大工・配管)、第2種電気工事士、2級建築施工管理学科、福祉住環境コーディネーター3級などです。
- ⑤進路。ここ数年は8割以上の生徒が就職を希望し、そのうち半数以上が建設関係(専門工事・施工管理・資材管理等)に就職しています。



3. 東京都立墨田工業高校 全日制 建築科

本校は、明治33年(1900年)に創立以来、116年もの長きにわたって、常に時代の先端技術を身に付ける教育活動を行ってきました。機械、自動車、電気、建築の4学科があり、卒業生の多くが、優秀な工業技術者として活躍しています。

建築科の特色は多くの一流の外部講師による授業展開であり、生徒だけではなく教員も大きく影響を受けています。

いままでご協力いただいた主な外部指導員は、以下の通りです。

- ・清水建設(株) 東京木工所 技能五輪入賞者(3年生課題研究)
 - ・構造設計講演会 工学院大学 小野里教授
 - ・インテリアデザイン講演会 工学院大学 鈴木俊彦教授
 - ・建築材料学講演会 工学院大学 田村教授
 - ・東京造形大学 室内建築専攻 上田教授(2年生造形実習)
 - ・建築家講演会 栗田祥弘氏
(隈研吾事務所にて在籍後独立。隈事務所では主に海外部門担当)
 - ・大工 数寄屋・宮大工 水澤工務店
 - ・大工 山田氏(技能コンテスト東京大会優勝)(3年生選択)
 - ・鉄筋工事(東京鉄筋業協同組合)(3年生対象)
 - ・型枠 内田工務店(1級技能士)(3年生対象)
 - ・タイル工事 東京都タイル技能士会(3年選択施工)
 - ・内装 クッションフロア張り(東京都内装業協会)〆
 - ・壁紙張り(東京都内装業協会)〆
 - ・防水 東京都防水事業協会(3年選択施工)
 - ・手考会 江戸指物の基本を月2回指導。(美術建築部)
- その他の協力(技術指導・建築教育方法一般)
- ・芝浦工業大学 工学部 建築学科 西沢大良教授
 - ・吉村順三記念ギャラリー 軽井沢の別荘 見学・図面提供
 - ・お茶の水美術専門学校 清水氏 デザインの教授法
 - ・日建工科専門学校 自由学園 明日館図面他提供
 - ・武蔵野美術大学 造形学部 建築学科 源教授
デザイン教授法
 - ・東京大学総合研究博物館 松本氏 空間デザインの手法(
 - ・東京芸術大学 美術学部 建築学科 中山英之氏(講演)

4. 東京都立墨田工業高等学校 定時制 総合技術科 建築・大工コース

本校は、明治33年(1900年)に設立され、明治35年に附属工業補習夜学校を設置した。その後、昭和23年に東京都立墨田工業新制高等学校と改称、第二本科が夜間課程、月島分校定時制課程と改称される。この時点では定時制は建築課程であり、昭和34年に建築科となる。平成7年になって総合技術科に改編、コース制をとり、建築デザインコースとなる。更に平成16年にはコースの名称変更があって現在の建築・大工コースになった。

建築ではなく、建築・大工と呼称するところは4年間の実習系の授業にあり、現在では毎学年何かしらの科目に大工の棟梁に市民講師として参加していただき、職人のノウハウを交えて生徒に教えていただいている。授業では、技能検定建築大工3級、とび3級受検を前提とした展開も取り入れており、例年それぞれ2級に挑戦する生徒がいる。また近年では、とびの組合から職人さんを派遣してもらい講座を開くこともするようになった。

進路については残念ながら、就職については学校斡旋の就職率は100%で、多くの卒業生が建設系の仕事を選択してはくれているが、木工の仕事だけで就職できる者は稀で、工業以外の職種に就く者もいる。進学希望者も少ない。



5. 東京都立葛西工業高等学校 全日制 建築科

本校は昭和38年に東京都立葛西工業高等学校として開校し、機械科4学級・電子科2学級・建築科2学級・計8学級が設置された。平成24年には創立50周年を迎え、数回の学科改編を経て、機械科2学級・電子科1学級・建築科2学級・計5学級へと変更された。平成16年には、都立工業高校の活性化に向け先導的な役割を担う「リーディング・テクニカル・ハイスクール」マイスター型(職業観育成型)工業高校として東京都教育委員会から指定を受けた。

また、平成22年には、近隣の工業高校の重点的実習校として、設備拠点校の指定を受け高度な実習、先端的な実習、総合的な実習を行えるように施設・設備が整備された。更に、平成23年度入学生より、企業と協力して生徒を育成するデュアルシステムが導入された。週1日学校を離れ、企業で研修を行うことで、実践的な技術・技能を身に付けている。また、インターンシップにも積極的に参加させ、企業体験を多く積ませるよう指導している。

建築科では、建築実習・建築製図に重点を置くとともに、多くの検定試験や資格取得の機会を与えている。また、市民講師制度を活用し、直接実践的な指導をってもらう機会を設けている。

卒業後は、地元企業を中心に就職をしているが、建築をさらに深く学習するため進学する生徒もいる。

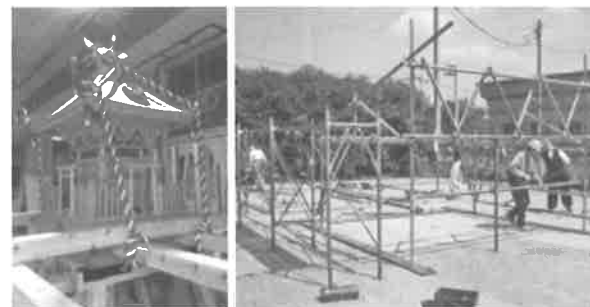


6. 東京都立田無工業高等学校 全日制 建築科

本校は昭和38年の開校で、50年以上の歴史を持つ、多摩地区としては唯一、建設系学科を設置しており、これまでに多くの人材を輩出してきた。

平成24年度から新たな取り組みとして、ものづくり即戦力人材育成プログラム「デュアルシステム」を導入し、学校と企業と一緒に生徒を育成する新しい職業教育を進め、実践的な技能・技術を生徒に身に付けさせる。さらに、企業と生徒の合意があれば、卒業後に就業訓練を行った企業に就職することも可能で、より自分に合った職業に就くことができる。

また、資格取得においては、高校生初となる「技能検定2級とび」に合格するなど、建築に関する様々な資格取得に力を注いでいる。資格取得を通して、自らのスキルを高め、キャリアアップにつなげている。近年合格した主な資格・検定は、消防設備士、2級施工管理技士、技能検定2・3級建築大工、技能検定2・3級とび、技能検定3級建築配管、技能検定3級左官、初級CAD検定等である。進路については、6割が就職、4割が進学で、就職先も8割以上が建設関係に就職し、建設業で即戦力となり地域産業に貢献できる人材を育成している。



7. 東京都立総合工科高等学校 全日制 建築・都市工学科

本校は、東京都立世田谷工業高等学校と東京都立小石川工業高等学校が統合し、平成17年4月に東京都立総合工科高等学校として昨年度、開設10周年を迎えました。全日制課程には、小石川工業高等学校及び世田谷工業高等学校のそれまでの教育実績を考慮し、機械・自動車科、電気・情報デザイン科、建築。都市工学科の3つの学科、18学級が設置されました。本校では、創造力豊かなものづくりのスペシャリストを目指し、高度な知識や技術を身に付けることができるように専門科目を精選して、ものづくりの楽しさや基礎・基本を学ぶとともに、普通教科の単位数を増加して大学への進学を可能とする教育課程を編成しています。

建築・都市工学科に入学後、2年次に建築類型と都市工学類型に分かれ、それぞれの専門分野について学びま

す。建築類型では、建築に関する計画、構造、設計、施工、法規を学び、実習や製図の技術を身に付け、デザインなどの応用力を育成し、大学進学および国家試験合格を目指します。国家資格は、卒業後に1・2級建築士や施工管理技士などの合格を目指します。在籍中に取れる資格は、計算技術検定1級～4級、建築CAD検定、福祉住環コーディネーター2級・3級、2級建築施工管理技士（筆記）、色彩検定3級、カラーコーディネーター3級、とび技能検定2級・3級、大工技能検定3級、危険物取扱主任者、乙種4類危険物取扱者、ガス溶接技能講習、アーク溶接技能講習、高所作業車特別教育、1t未満移動式クレーン特別教育、玉掛け特別教育、車両系建設機械運転特別教育などである。



8. 東京都立総合工科高等学校 定時制 総合技術科 建築コース

本校は、都立小石川工業高校と世田谷工業高校の再編整備（統合）により、平成18年4月開校から10年が経過しました。

本校の総合技術科には自動車コース、電気・メカトロコース、建築コースの三つの専門コースがあります。1年次は各コースの基礎・基本を学び、2年次から生徒の興味や関心に応じて専門コースを選択します。

建築コースでは、実習を通して生きた知識や技術・技能を身に付けるだけでなく、将来有用な資格の取得にも積極的に取り組んでいます。2年次ではガス溶接技能講習や建築大工技能検定3級、3年次では玉掛け技能講習やカラーコーディネーター3級、インテリアコーディネーター、建築施工管理技士2級などの資格にチャレンジしています。

定時制課程の修学年限は原則4年ですが、指定の通信制高校との併修や資格認定による三修制（3年間で卒業する制度）も実施しています。また、勉強だけでなく、学校行事や部活動にも力を入れており、本校の恵まれた施設や設備を生かして活躍している生徒がいます。卒業後は、多くの生徒が地元企業を中心に就職しますが、専門学校や大学に進学する生徒もいます。



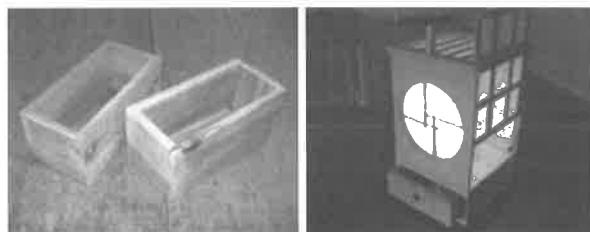
9. 私立 昭和第一学園高等学校 全日制 工学科

建築デザインコース

本校は、多摩地域の産業活性化と中堅技術者の育成のため創立者が私財をなげうち昭和15年創立し、4万人を超える卒業生は今各地で活躍しています。数回の学科変更の後、平成元年に昭和第一学園と校名変更し現在普通科・工学科を設置、工学科内には、総合工学・機械・電子情報・建築デザインの4コースがあり、1年入学時はくくり募集とし、工業数理基礎や情報技術基礎で工学全般の知識を学び、自分が興味を持ったコースへ2年次より分かれます。

建築デザインコースでは、1年の工業技術基礎において、道具の安全な使い方や墨付け・材料の切り方釘の打ち方など初歩的な動作を覚え、作業としてプランターを作製し木の感触を味わうことで、少しでも建築に興味を持ってもらい、2年次からはデザイン、3年次では福祉や介護なども含めた建物を考えられる生徒の育成を目指しています。資格取得や各種検定・安全教育にも力を入れ、自らのスキルを高めるように努めています。

進路については、都市部にある工業系の学校ということもあり、大学・専門学校が8割、就職は2割ほどで、多くの生徒が上級学校に進んでいます。就職者のすべてが建築関係とはいきませんが、どこへ行っても即戦力に成り得る人材を育成しています。



10. 私立 日本工業大学駒場高等学校 全日制 建築科

本校は、明治41年2月に東京小石川に東京工科大学として開校し、長い歴史の中で幾度かの校舎移転、校名変更を経て、現在の目黒区駒場に昭和23年に東京工業高等学校として移転いたしました。長年にわたり工学技術者の育成を目標とする中で、昭和42年には実工学教育を基本とした日本工業大学を開学いたしました。その後、平成17年に理数工学科および国際工学科を設置し女子受け入れを開始、更に平成20年には、普通科を設置いたしました。

平成29年には創立110年を迎えるにあたり、従来の機械科・建築科・電子情報システム科を廃止し新たに創造工学科を設置いたします。

創造工学科では、1年次において工学全般についてその基本的な工学知識を学習し、2年次より各自の進路希望等により機械コース・建築コース・電子情報システムコースを選択してもらいます。建築コースにおいては、今までの建築科において学習した内容をより精査し、対外的な各種建築設計競技や高校生ものづくりコンテスト等への積極的な参加、木工芸作品やガラス加工作品（サンドブラスト・ステンドグラス）などの工芸作品製作にも生徒の意欲的な学習への取り組みを進めるなど建築全般について興味関心を深めております。

また、実際の建設現場の見学や技術研究所などの見学

を毎年実施しており、企業の生の姿を体感することで大きな刺激となっております。進路に尽きましては、日本工業大学を始め、工学系の大学への進学者が多く専門学校を含め、8割以上の生徒が上級学校へ進学しております。



11. 東京工業大学附属科学技術高等学校 全日制

科学・技術科 建築デザイン分野

(立体造形デジタルデザイン分野)

本校は、明治19年（1886年）に設立された東京商業学校（現一橋大学）附設商工徒弟講習所職工科を起源とする、長い歴史と伝統のある理工系の高等学校です。国立大学附属学校であり、工業系の専門学校としての特徴を活かし、東京工業大学との連携の下、高大接続教育を先進的な科学技術教育を実践することで実現しています。

本校は、文部科学省が設置したスーパーサイエンスハイスクール（SSH）研究開発学校として平成14年（2002年）度から連続して3回の指定を受けています。さらに、平成28年度に4回目となる指定を受け、“国際的に活躍できる科学技術系人材”の育成を目指しています。また、昨年度にはスーパーグローバルハイスクール（SGH）研究開発学校として指定され、“科学技術的素養を持つグローバルテクニカルリーダー”の育成にも取り組んでいます。東京工業大学の教員による授業や講演、研究室見学、大学のイベントへの参加など、最先端の科学技術研究に接する機会が多く設けられています。

建築デザイン分野は、5つある専門分野の一つです。2年次より生徒が所属し、建築を中心とした空間やデザインに関する具体的な例を通じた学習を行います。例年、多くの生徒が自主的に建築コンペやデザインコンテストに参加し、成果を上げています。進路については、ほとんどの生徒が四年制大学への進学を選択します。



17. 愛知県の建築教育の状況

愛知県理事
愛知県立碧南工業高等学校
稲生 浩次

1. 愛知県立愛知工業高等学校 全日制 建設科

本校は明治34年に愛知県立工業高校として開校し、本年度創立116年を迎える、愛知県で最も歴史のある工業高校です。本校全日制には、電子機械科、電気科、情報技術科、建設科、化学工業科、デザイン科の6学科が設置されていますが、建設科は平成17年に学科改変により建築科と土木科が合併し建設科となりました。1年次は建築と土木の両面にわたる共通基礎科目を学習し、2年次から建築コースと土木コースに分かれてそれぞれ建築と土木の専門的な学習を深めています。建設科では資格取得に重点を置き、2級施工管理技術検定、技能士（建築大工）、測量士補、小型車両系建設機械運転特別教育、小型移動式クレーン運転技能講習、製図技能検定、建設業経理事務士検定試験等たくさんの資格取得に挑戦させ多くの生徒が合格しています。

また本校は、東山工業高等学校と統合し、新しく愛知県立愛知総合工科高等学校になります。愛知県立愛知総合工科高等学校は、今年度開校しましたので、愛知工業高等学校全日制は今年度から募集停止になり、現在は2・3年生だけです。ただし、在校生が卒業するまでは本校は存続します。



2. 愛知県立愛知工業高等学校 定時制 建築科

昭和23年4月に学制改革により愛知県工業学校は愛知県立愛知工業高等学校となり、同年6月に定時制夜間課程として機械科、電気科、建築科が設置された。昭和47年に独立校として愛知県立第二愛知工業高等学校となった、その後生徒の減少とともに平成10年には併置され現在の愛知県立愛知工業高等学校定時制課程となった。現在の設置学科は4年生が、電子機械科、建築科、1～3年生がものづくり科として120名の生徒が在籍している。来年度からは1～4年生がすべてものづくり科となるが、建築が無くなるわけではなく、ものづくり科の一部として、座学、実習、課題研究などを利用して、建築を教えていくことになる。

近年は様々な問題を抱えた生徒が多く入学してきており、3分の1くらいの生徒が途中で退学しているのが現状である。大きな特色としては、職員全員が生徒一人一人の実情を把握しながら、少人数での製図・実習・課題研究等を展開していることである。特に製図には力を入れ、トレース課題から自由設計まで取り組み、CADも取り入れている。木工実習では上級生になると生徒自ら作品を決め図面を起こし製作している。その他、溶接、測量、模型制作、材料実験等にも取り組んでいる。



3. 愛知県立一宮工業高等学校 全日制 建築科

昭和38年に開校した伝統ある学校である。学年あたり、機械科2クラス、電気科2クラス、建築科1クラス、土木科1クラスの合計6クラスで構成されている。学校としての特徴は、大学進学コースと工業スペシャリストコースの2つのコースが選択できるカリキュラムが組まれている。建築科は、1年生においては土木科との一括募集で2クラス80人を受入れ、2年時に建築科40人、土木科40人に分ける選科を行っている。建築科の特徴は、生徒の就職希望が施工会社から個人の棟梁に弟子入りする大工希望まで多岐にわたるので、全員実習のテーマで基本をおさえながら選択実習のテーマで様々な技能教育を行っている。木造在来構法2階建て骨組みと鉄骨造3階建て骨組みの建て方実習は、施設にも恵まれて建築科の代表的な全員実習のテーマである。選択実習のテーマとしては、2級鉄筋技能士実技問題を使った鉄筋組立て実習、型枠組立て実習、3級大工技能士実技問題を製作する木材加工実習、溶接実習などを取り入れている。製図については、製図の時間のみを使い、ほとんど家庭課題のない展開で行っている。授業後は、体力とコミュニケーション能力を高める部活動に取り組ませている。



4. 愛知県立豊橋工業高等学校 全日制 建築科

本校は、昭和19年4月に当時の豊橋市立商業学校を変更し豊橋市立工業学校として創設される。昭和27年県立移管により、愛知県立豊橋工業高等学校となる。本年度創立74年を迎え、機械・電子機械・電気・電子工学・建築・土木の6学科からなる学校である。

本校の教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成を図り、時代の進展に適應でき、創造力・実践力に富む人材を育成する。」のもと、社会で通用し、地域社会で必要とされる学校づくりを目指している。

建築科の取組としては、基礎基本を大切にしている。製図は3年間を通して東日本教育研究会の建築製図コンクールに挑戦し、毎年数名の入賞を果たしている。卒業設計では、設計条件をもとにテーマを決めて取り組み、

昨年度からは個人発表にも挑戦している。実習では、木工・計画・施工・模型・CAD・透視図・配筋・構造と多岐にわたり実施している。実習の内容は、時代の変化に対応できるように、毎年精査を進め内容の検討をしている。

卒業後は、毎年建築関連の地元企業を進路先として選択する生徒が多く、一部の生徒は専門的知識を高めるために進学している。



5. 愛知県立半田工業高等学校 全日制 建築科

本校は昭和38年4月、地域社会の強い要望により知多半島唯一の工業高校として機械科と電気科の2学科で開校されました。建築科は土木科との一括募集にて昭和49年に新設されました。現在は電子機械科2クラス、電気科2クラス、土木科1クラス、建築科1クラスの4学科6クラスの工業高校です。校訓は「人となれ」を目標に教科指導や特別活動および校外活動など、あらゆる機会を指導の場として望ましい人間形成に努めています。毎年2月には平成6年度から継続している課題研究発表会を企業の方や地元の中学生を招いて行っています。建築科では、ものづくりを中心とした授業内容とし、生徒が興味を持って積極的に取り組めるよう創意工夫に努めています。中でも、課題研究の一つであるペーパークラフトでは、東日本大震災で被害にあった大川小学校や地元の半田市赤レンガ建物、ミツカンミュージアムなどをペーパークラフト化し、赤レンガ建物オープン記念イベントなどの各種イベントに参加し、地域との連携にも努めています。また、建設業協会の支援のもと、左官や造園の体験実習、建設現場の見学など、生徒が建設業により興味・関心を示すようにと様々な取組を行っています。



6. 愛知県立碧南工業高等学校 全日制 建築科

本校は碧南市北部に昭和48年に設立され、機械科2クラス、電子工学科2クラス、建築科1クラス、環境工学1クラスの4学科が設置されている。本校の近隣には、自動車関連企業が多く三州瓦製造工場も多くあり瓦の産地でもある。校訓「人成って技育つ」の精神のもとに社会人基礎力を養うことを目標としている。

本校では、平成19年度より地元企業の協力により2年次において4学科生徒全員に4日間のインターシップの機会を設けている。また、全学科において一部の生

徒は、クラフトマンⅡ研修講座に積極的に参加し、高度の専門技術・技能の習得を目指している。他にも、地域との連携を図り、地元の小学生を対象にものづくり教室や中学校出前授業を実施している。

建築科では、進路を踏まえ建築に関連する資格取得を目標に建築大工技能士・2級建築施工管理技術検定指導の充実を図っている。

課題研究では、現大工職棟梁から直接指導を受け平屋建を墨付け、加工、建方まで実践的な実習を取り入れている。また、全国高校生建築製図コンクールをはじめ大学、企業等の設計競技にも積極的に取り組んでいる。



7. 愛知県立佐織工業高等学校 全日制 建築科

本校は養老山脈を西方に望む愛西市に位置し、尾張西部唯一・期待の工業高校として昭和51年4月に開校し、昭和52年4月に建築科が設置されました。本校は開校以来、「活（いかす）」の校訓のもとに、実社会で通用し貢献できる人材の育成と、実社会から必要とされる工業人の育成に邁進してきました。

建築科では日本の伝統技術・技能を継承できる建築技術者を育成することを目標としています。木材加工競技をはじめとし、建築大工技能士の資格取得にも積極的に取り組んでいます。また、製図の授業では建物の図面を手書きで描くことを基本とし、CADを活用した設計製図や三次元で立体的に表現できる力も養っています。

特に木材加工の分野では、高校生ものづくりコンテスト東海大会に10度出場し、そのうち全国大会へ5度進出している。平成27年度には、初の全国制覇を果たした。また、設計製図の分野では、各大学、専門学校等主催のコンペに積極的に参加し、着実に成果を上げてきている。

各種競技会への参加を通し、建築への更なる興味・関心を高めている。



8. 名古屋市立工芸高等学校 全日制 建築システム科

木構造・鉄筋コンクリート構造・鋼構造等の計画から設計・施工までの各過程についての基礎的な知識・理論・技術に情報技術を系統的に関連させて、建築物の設計・施工の業務に携わることのできる能力を養います。

建築計画・構造・構造設計・法規・施工において建築に関する基礎的な知識・理論を学び、それに建築総合・環境工学基礎・建築史を関連させて学習します。

工業技術基礎・情報技術基礎などで工業に関する広い視野を養い、工業技術の基礎を習得します。

製図において製図法の基礎を理解し、身近な木造住宅から各種の構造・用途の建築物の設計製図法に至るまで学習します。さらに、CAD製図からコンピュータグラフィックの操作法を習得し、プレゼンテーション能力を身につけます。

各実習では、2年次・3年次と2年間にわたり、系統的な学習を設計して、造形・情報処理・材料・環境・測量などについて学習します。また、課題研究において、創造性や問題解決に取り組む能力などの応用力も育成します。



9. 名古屋工業高等学校 全日制 建築科

本校は、創設者、林 聖毅先生の「我が国は工業立国なり」との卓越した洞察力の下に、我が国の繁栄は、優れた工業技術者の育成にあると大正9年に創立、建築科は大正11年に設置されました。以来、「工業立国日本」の担い手として、平和国家の建設と、社会の発展に貢献できる中堅技術者の育成を目指し「心身の健全」、「着実な修学」、「礼節を尚ぶ」を建学の精神として、心・技・体の調和のとれた技術者の育成に努めています。また、建学の精神に基づき、礼儀正しく、勤勉で、責任を重んじる人物を育成する一方で、技術者としての基礎的な技術・技能を習得した、有用な人材を育成することを目標としています。建築科では、資格取得に関して「自主学習の精神」・「チャレンジ精神」の高揚などを目標に、生徒自身が意欲的に取り組むことのできる環境づくりに力を入れるとともに、専門分野に関する資格取得などにも取り組んでいます。

近年では、3年生在籍の生徒が中心となって卒業記念品として教壇、教卓などの製作に取り組むような活動をしています。また、建設関連企業で生徒対象に実施されるインターンシップなどに参加し、建設現場での就業について理解を深めるような機会を多く持つようにしています。今後は、このような活動をいかした生徒への指導が充実するようにしていきたいと思ひます。



10. 愛知県立愛知総合工科高等学校 全日制 建設科

本校は、本年4月に開校した。愛知工業高校と東山工業高校を統合し、東山工業高校の跡地に新しい校舎が建設された。機械加工科・機械制御科・電気科・電子情報科・建設科・応用化学科・デザイン工学科の7学科が設置されているが、入学時は全科一括募集を行い、1年次の前期にもものづくりの基礎基本を、後期から5系列に分かれ専門的な知識の基礎を学ぶ。2年次からは、各科に分かれて専門的な知識の習得に励む。建設科では、建築・土木どちらの分野も学習し、未来の住みよい生活環境を構築する技術者を育成する。

新しく建設された校舎は、建物自体が教材となるように設計施工されており、建築の授業でも利用できる部分が多くある。建設途中の写真や資料も施工会社から提供されており、授業に大いに活用していく予定である。

「夢志(ゆめ)実現、輝かせ 知・技・心」の校訓の元、自らの専門分野を基幹として幅広い知識、技術・技能を学び、総合的なものづくりの実践力を育成している。



18. 事務局報告

1. 大会開催都道府県について

現在、開催順を下記の通り計画をしております。

| 28年 | 29年 | 30年 | 31年 | 32年 | 33年 | 34年 | 35年 |
|-----|-----|-----|-----|--------------|-----|-----|-----|
| 千葉 | 愛知 | 長野 | 北海道 | 秋田 (70周年) | 栃木 | 青森 | 山梨 |
| 決定 | 決定 | 決定 | 決定 | 決定 | 決定 | 決定 | 決定 |

2. 東日本建築教育研究会HPをご利用ください。

各種要綱・案内、申し込みフォームなどが掲載されております。

<http://www.hnkkk.org/>

連絡

1. 東日本建築教育研究会刊行物のご利用をお願いいたします。

2. 個人会員

| | |
|--------|--------------------|
| 萱沼 俊一 | 宮城県工業高等学校 |
| 井上 純一 | 千葉県立千葉工業高等学校 |
| 峯 孝一 | 千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 |
| 田村 信義 | 千葉県立安房拓心高等学校 |
| 榎本 吉晃 | 安田学園高等学校 |
| 小澤 誠志 | 東京都立総合工科高等学校 |
| 佐久間 英謙 | 岐阜県立多治見工業高等学校 |
| 林原 紳二 | 鳥取県立米子工業高等学校 |

3. 入 会 愛知県立愛知総合工科高等学校

4. 退 会 なし

(平成28年7月現在 会員校133校)

☆事務局 東京都立墨田工業高等学校・建築科内
事務局長 鈴木 健 / 会計 笹崎 ひろみ

☆所在地 〒135-0004 東京都江東区森下5-1-7
東京都立墨田工業高等学校 建築科内
TEL 03-3631-4928 FAX 03-3846-6683
Eメール <jimu@hnkkk.org>

平成28年度 会員名簿 正誤表

平成28年8月8日

| 頁 | 誤 | 正 |
|----|---|---|
| 4 | 4) 構造分科会 黒澤 昇 (前橋工) | 黒澤 昇 (高崎工) |
| 15 | 6-01 山形県立 山形工業高等学校[全日制] 実教 三部 義信 | 主実 三部 義信 |
| 38 | 個人会員 岐阜県立多治見工業高等学校 電子機械科 〒503-0984 岐阜県多治見市陶元町207 TEL:0572-22-2351 実習教諭 佐久間 英謙 | 岐阜県立大垣工業高等学校 定時制 工業技術科 〒503-8521 岐阜県大垣市南若森町301-1 TEL:0584-81-1280 実習教諭 佐久間 英謙 |
| 40 | 加盟校以外の会員 (校長・教頭・指導主事) 東京都教育庁中部学校経営支援センター支所 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 都庁第2庁舎 指導主事 池上 信幸 TEL 03-5320-6845 東京都教育庁中部学校経営支援センター支所 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 都庁第2庁舎 指導主事 山本 進一 TEL 03-5320-6845 | (住所、電話番号訂正) 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1-26-9 TEL 03-3469-9783 (住所、電話番号訂正) 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1-26-9 TEL 03-3469-9783 |
| 43 | | (追加) 総会后申請のため 事業者 職業能力開発短期大学校 東京建築カレッジ 理事長 朝倉 法明 TEL 03-5950-1771 FAX 03-5950-1774 住所 〒170-0014 東京都豊島区池袋1-8-6 担当者 教務部 吉川 新吾 分野 教育 (短期大学校) (追加) 総会后申請のため 事業者 清水建設株式会社 TEL 03-3561-5025 FAX 03-3561-8694 住所 〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目16-1 担当者 取引業者育成グループ 中村 有作 分野 建設業 (社名変更) 武藤工業株式会社 代表取締役社長 早川 信正 |

※その他訂正等、お気付きの点がありましたら下記編集委員までお知らせください。
千葉県立千葉工業高等学校・建設科 小関 茂雄 (hensyuu@hnkkk.org)

19. 編集後記

東日本建築教育研究会関係者の皆様の御指導・御協力により、お陰様にて「建築教育ニュース」2016年号を完成することができました。日頃より教育活動にお忙しいところ、御執筆頂きました先生方に感謝申し上げます。

2016.11

編集担当

建築教育ニュース2016.11号

発行日 平成28年11月
編集 編集委員会 小関 茂雄(京葉工) 田村 信義(安房拓心) 遠藤 啓史(市川工)
発行 東日本建築教育研究会(会長 三上 幸男)
事務局 〒135-0004 東京都江東区森下5-1-7
TEL 03-3631-4928
FAX 03-3846-6683
東京都立墨田工業高等学校(事務局長 鈴木 健)
編集事務局 〒263-0024 千葉県千葉市稲毛区穴川4-11-32
TEL 043-251-4197
FAX 043-251-9717
千葉県立京葉工業高等学校(編集委員長 小関 茂雄)
印刷 株式会社 川口印刷工房
〒288-0044 千葉県銚子市西芝町1-6
TEL 0479-22-0721

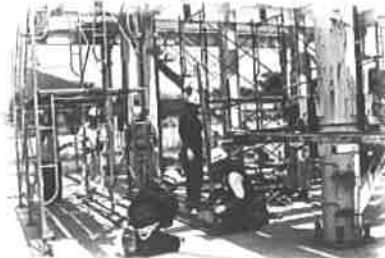


富士教育訓練センターでは、多くの実業高校生や専門学校生が建設業で仕事ができる技能を身に付けるため実習に取り組んでいます。

富士山西麓の恵まれた環境のもとで、手に職を目指す若者に実務教育のための充実した実習の場が用意されています。



学校の夏休みを利用して
高校生や大学生、専門学校生が
資格取得や現場で仕事ができる
技能を身に付けるため、実習に
取り組んでいます。



土木・建築・内装など
富士山西麓の恵まれたフィールドで
充実した教育を
行っ
てい
く。

学校や先生方のお問合せ、来訪をお待ちしています。

職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会

富士教育訓練センター

URL <http://www.fuji-kkc.ac.jp>

〒418-0101

静岡県富士宮市根原492-8

TEL 0544 (52) 0968

Email Info@fuji-kkc.ac.jp

地域と共に発展・成長する
北海道No.1の実学系総合大学へ



北海道科学大学

北海道科学大学短期大学部

+Professional

工 学 部

機械工学科 情報工学科
電気電子工学科 建築学科
都市環境学科

保健医療学部

看護学科 理学療法学科
義肢装具学科 臨床工学科
診療放射線学科

未来デザイン学部

メディアデザイン学科
人間社会学科

短期大学部

自動車工業科

※H29年4月より、自動車工学科へ名称変更予定

www.hus.ac.jp

〒006-8585

札幌市手稲区前田7条15丁目4-1

TEL 011-681-2161(代表)

MUTOH

最先端の造形技術を教室に3DプリンターもMUTOHへ

パーソナル3Dプリンタ

MF-1100

イメージをリアルに再現
パーソナル3Dプリンタ誕生。

- ・綺麗な造形を可能にするオリジナルヒーターヘッド。
- ・造形物を明るく照らすLEDライト標準装備。
- ・高精度な造形を実現する高剛性ボディ。
- ・積層レイヤーは100ミクロンの高解像度造形。
- ・温度変化による変形を抑えるヒーター付き成形テーブル。
- ・造形物を適切な温度に冷却するダブル冷却ファン搭載。
- ・日本語対応ソフトウェア&専用窓口で安心サポート。

Value
3D MagiX



Professional 3D Printers
ProJet® x60 Series

- 他のプリント方法と比べ約5~10倍の速度を誇る世界最速の3Dプリンタ
- 建築模型サンプルやフィギア等フルカラーデザイン造形には最適です。
- 材料は石膏ベース高性能複合素材で複雑な形状や、小さく詳細な形状のモデリングが可能。



「産業教育振興中央会」評議委員

武藤工業株式会社

東京都世田谷区池尻 3-1-3 〒154-8560 TEL(03)6758-7130

INTERNET
HOME-PAGE

<http://www.mutoh.co.jp/>

唯一！本格的に木造建築の技術と心が学べる

日本建築専門学校

一級建築士受験資格認定校（4大と同等）

〒418-0103 静岡県富士宮市上井出2730-5
TEL 0544-54-1541

個性を大切に、創造性を育み、誰もが快適に暮らせる魅力的な環境や空間を創造する建築家、インテリアデザイナー、建築技術者を養成します。
「建築学科」では、建築からまちづくりまで、災害に強く、安全で心地よいまちづくりに貢献する、建築家や建築技術者を養成します。
「生活環境デザイン学科」では、心地よいインテリアや福祉空間を創造するデザイナーやコーディネーターを育てます。

【建築学科】 建築・都市デザインコース/構造・環境エンジニアリングコース 【生活環境デザイン学科】 住空間デザインコース/福祉空間デザインコース



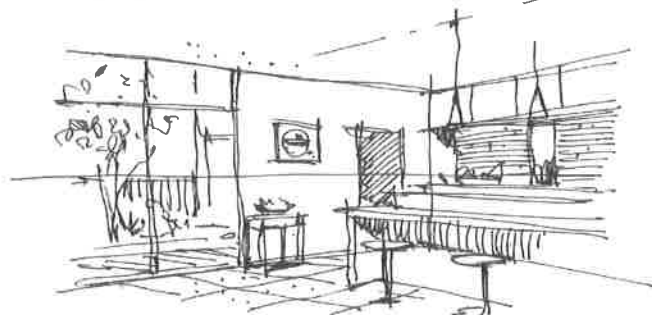
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
TEL 0480-33-7676 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp <http://www.nit.ac.jp/>

機械工学科 ものづくり環境学科 創造システム工学科 電気電子工学科 情報工学科 建築学科 生活環境デザイン学科

2017年、学園創立110周年、大学設立50周年

日本工業大学

描くチカラは、伝えるチカラ。



立体を表現する力

パース検定

<http://www.pers-tech.org>

1級、2級、3級

2016年11月20日(日)開催

詳しくはHPをご覧ください

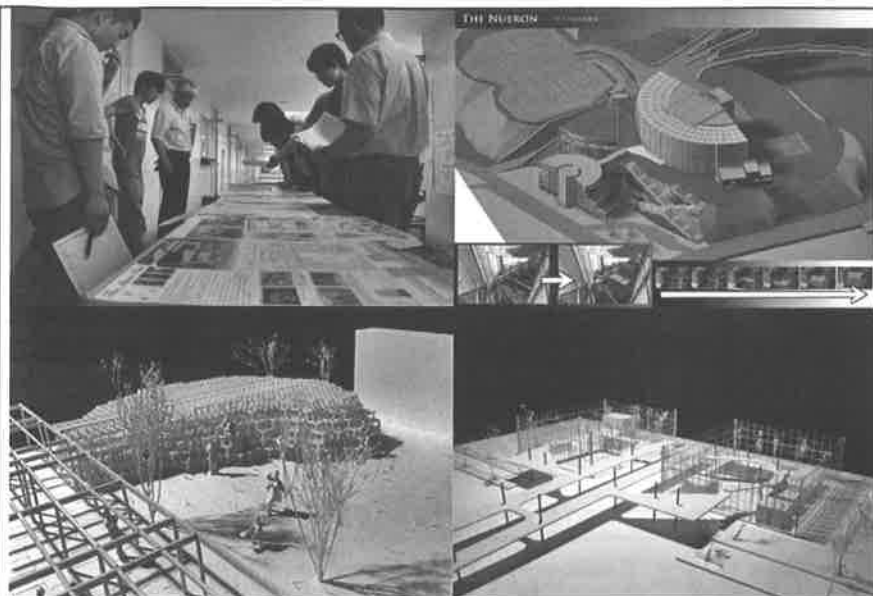
ものづくりに携わる者が身につけておきたいスキル、それが「描くチカラ」。

『伝える』を『確実に伝わる』に変える、有効なコミュニケーションツールなのです。

一般社団法人
日本パーステック協会
Japan Pers-tech Association

手描きパースの普及・教育・指導 / パース検定主催

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-5-11
TEL : 06-6267-5331 FAX : 06-6267-5332
E-mail : info@pers-tech.org



SEISA

道都大学

美術学部建築学科

■ 建築プロフェッショナル専攻

■ 建築デザイン専攻



〒061-1196 北海道北広島市中の沢149番地 TEL 011-372-3111

☎ 0120-870205

建築士受験用平行定規のベストセラー製品です！

DRAPAS BOARD DXM-601

- ◆マグネットボード仕様・携帯バッグ(防水)付属 ◆重量:3.0kg(本体)
- ◆外形寸法:505×685mm 製図範囲:426×600mm
- ◆マグネットプレート 500mm×2枚・300mm×2枚 付属



※ポートフォリオバッグ
付も選べます。

◆好評のドラパスボードの姉妹品 DXM900 (A1)



用途に応じ、製図台付
セットも用意できます。

お問い合わせは下記まで

DRAPAS 設計製図・画材・デザイン材料の総合発売元

ドラパス株式会社

本社:東京都北区滝野川7-26-7 〒114-0023

TEL:03(3916)3201 FAX:03(3916)5532

<http://www.drapas.co.jp>



建築士会とは、多種多様な建築分野で活躍する建築士が集まる、建築士法第22条の4で定められている社団法人で、全国47すべての都道府県に設立されている世界有数、日本最大のスペシャリスト集団です。

一級建築士中央指定登録機関 <http://www.kenchikushikai.or.jp>

公益社団法人日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館5階 TEL 03-3456-2061

木造注文住宅 「住友林業の家」の施工専門会社

住友林業100%出資のグループ会社で、私たちは高品質の「住友林業の家」を技術で支えています！

確かな技能を育む訓練体制

入社後は、住友林業建築技術専門校にて1年間『木造軸組工法』の基礎を学んだのち、配属されます



毎年、国内の若手技能者がその技を競う「技能五輪全国大会」の建築大工職種で常に上位入賞を果たしています

「技能五輪国際大会(world skills)」にも出場実績があります

1999年ダ・モンリオール大会：敢闘賞

2007年日本・静岡大会：銀賞

2011年イギリス・ロンドン大会：銀賞

※毎年全国で60名の大工職を採用しています



住友林業ホームエンジニアリング株式会社

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-7 TEL:03-6911-3341 <http://www.sumirin-he.co.jp/>



建築士試験会場持込み可

製図器と模型材料の
トップメーカー

takeda

※商品をお試しされたい方は、ご連絡ください。

タケダコーポレーション株式会社 〒130-0003 東京都墨田区横川1-3-9 Tel.03-3626-7821 Fax.03-3626-7822 URL.<http://takeda-ee.com/>



Collaboration & Communication

専門学校 東京テクニカルカレッジ

入学相談室 〒164-8787 東京都中野区東中野4-2-3

☎ 0120-1969-04

🌐 <http://www.tera-house.ac.jp/>



- ◆建築監督科
- ◆建築科(昼・夜)
- ◆インテリア科
- ◆ゲームプログラミング科
- ◆情報処理科
- ◆Web動画クリエイター科
- ◆環境テクノロジー科
- ◆バイオテクノロジー科

写真で見る土木工事の施工手順

改訂
5版

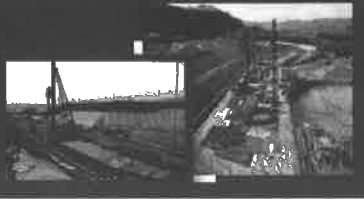
土木施工の実際と解説

【A4判】 定価 本体 14,000円＋税

土木施工の流れと要点を 分かりやすく解説！

こんな方におすすめ!!

現場に行く機会のない学生
の教材におすす
めします！



こんな教材が欲しかった！

まんがめざせ！現場監督

まんがシリーズ
第3弾!!

【平成27年5月発行】 【AB判】 定価 本体 2,000円＋税

現場のやりがいを 知ることができる一冊



これから建設業界を
目指そうという学生
の皆様におすすめします！



内容見本

解説



一般財団法人 建設物価調査会

☎ 電話でのお問い合わせ ☎ 0120-978-599 (9:00~17:00 土・日・祝日除く)

💻 パソコンからのお申込み <http://book.kensetu-navi.com/>

建設物価 Book Store

検索

アットホーム教育と充実した就職指導体制!!

○ 建築設計科

○ 建築士専攻科

○ ビジュアルデザイン科

※二級建築士受験資格者対象

○ ゲームクリエイター科

○ 情報システム科



建築・情報・ゲーム・デザインの総合学園

学校 法人 **国際理工情報デザイン** 専門学校

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-8-11 お問合せ 0120-498-593

資料請求はこちらから

国際理工

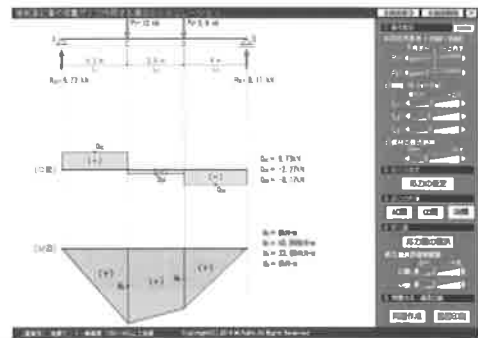
検索

建築構造設計 準拠

構造力学シミュレーション &問題作成ソフト

DVD 1 枚組 定価 (本体 15,000 円＋税)

- 構造力学に必要な知識をシミュレーションしながら学習することができます。
- シミュレーションした内容で演習問題を作成し、解答も自動で計算・作図。印刷してそのまま配布することができます。



建築設計製図・建築構造 準拠

建築デジタルデータ集

DVD 3 枚組 定価 (本体 20,000 円＋税)

※指導資料扱いとなっておりますので、学校に出入りの書店様に直接ご注文ください。



実教出版株式会社

<http://www.jikkyo.co.jp/>

〒102-8377 東京都千代田区五番町 5

TEL : 03-3238-7777 FAX : 03-3238-7755

大好きなインテリアデザインを、
ICSで仕事にする。

インテリアデコレーション科 積貫(ほうせう)さん

単科 1963年に創立、
インテリアデザインの
単科校。

個別指導 チュートリアル方式
授業による
個別指導。

世界環境 在校生の30%以上が、
世界中からの
留学生。

就職 全学科平均93%、
抜群の就職率!

【インテリア 建築、家具、プロダクト、照明から施工
まで、空間デザインのプロフェッショナルを養成】 学校法人 環境造形学園
専門学校 **ICSカレッジオブアーツ** 〒152-0022 東京都目黒区柿の木坂1-5-6

☎ 0120-006911

インテリア ICS で検索

<http://www.ics.ac.jp/>



Facebookで学校の最新情報を公開中!

未来に誇れる仕事をしよう。

ASANO
INSTITUTE OF TECHNOLOGY

本校の学科は「職業実践専門課程」として文部科学大臣から認定されています。

未来の日本を担う「総合的建築人」を育成

人と環境に優しい「住宅・住空間のプロ」を育成

充実の
4年間

建築工学科

集中の
2年間

建築デザイン科

＜高度専門士＞

＜専門士＞

横浜で本物を学ぶ「浅野の建築」

浅野工学専門学校

〒221-0012 横浜市神奈川区子安台1-3-1

☎0120-19-2903 FAX.045-431-9724 MAIL. info@asano.ac.jp

www.asano.ac.jp/ 詳しくは



100年をつくる会社 鹿島建設と共に働こう!



鹿島事業協同組合連合会

〒107-8348 東京都港区赤坂6-5-11 TEL 03-3587-9547

<http://kajima-kyoren.com>



建築製図 I・II

「図面を描くのは初めて、時間をかけて描き上げた建築図面は感動です。」

やさしい建築は千葉で学べる

校外研修
- 成田山新勝寺 -

「千葉県といえば成田山、成田山といえば鰻。みんなと食べれば美味しさも倍増。」

集中授業
- トランシット測量 -

「建築物を建てるためには、土地の測量が必要。基礎知識を身につけて働きたい。」



【設置学科】

[全日制 1年コース]

超・建築入門はここから始まる

○建築デザイン研究科 (定員数 29名)

[全日制 2年コース]

建築士に向かって

○建築CAD技術科 (定員数 80名)

実習科目いっぱい

○デザイン設計科 (定員数 29名)



学校法人 日建千葉学園

千葉日建工科専門学校

Chiba Nikken Postsecondary Training College

〒260-0031

千葉県千葉市中央区新千葉 2-20-1

TEL 0120-36-4149 URL cnp.ac.jp

技能講習

資格取得講習 ガス溶接 技能講習



可燃性ガス及び
酸化剤を用いて行う
金属の溶接、加熱、
加熱の作業には、
ガス溶接技能講習
の受講が必要です。

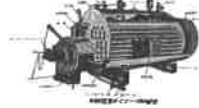
¥9,300

資格取得講習 有機溶剤 作業主任者技能講習



¥11,100

資格取得講習 ボイラー取扱 技能講習



¥9,900

《出張講習承ります》

労働安全衛生法に規定されている【技能講習】および【特別教育】
を各都県の学校中心に「出張講習」にて実施させていただいて
おり、記載されている以外の科目も実施しております。

御力添えできる機会がございましたら、

お気軽に御問い合わせ下さい。

特別教育

資格取得講習 フォークリフト運転 特別教育



労働安全衛生法
第59条第2項
第63条第2項
第63条第3項

最大荷重1トン未満
のフォークリフトの
運転の業務に必要の
資格です。

¥9,400

資格取得講習 高所作業車運転 特別教育



労働安全衛生法
第59条第2項
第63条第2項
第63条第3項

作業部の高さが
10m未満の
高所作業車の
運転の業務に
必要の資格です。

¥9,300

資格取得講習 アーク溶接 特別教育



労働安全衛生法
第59条第2項
第63条第2項
第63条第3項

アーク溶接を
行う作業の
実施、調整の作
業には、アーク
溶接講習の受講
が必要です。

¥11,300

労働局登録教習機関

一般財団法人 労働安全衛生管理協会

〒336-0017 さいたま市南区南浦和 2-27-15(信庄ビル3階) Tel 048(885)7773

ホームページ <http://www.roudouanzen.com>

夢をカタチにできる大学



NHK大学ロボコンで活躍



授業で本物の連絡橋を建設



全日本学生
フォーミュラで活躍



授業で戸建住宅を建設



ものつくり大学

Institute of Technologists

技能工芸学部 製造学科 **コース** 先進加工技術, 機械デザイン, 電気電子・ロボット
情報・マネジメント

建設学科 **コース** 木造建築, 都市・建築, 仕上・インテリア
建築デザイン

〒361-0038 埼玉県行田市前谷333番地 Tel 048-564-3816 URL <http://www.iot.ac.jp/>

3DCGで学習する 建築・インテリア・プレゼンテーション

MEGASOFT®

主な学習効果

1 平面と立体の関係を容易に理解でき、空間把握力が育ちます



● 製図学習で作成した平面プランを入力

● 立体画面で再現した空間をすみずみまで確認

● 法規チェック、平面図/立面図をCADデータで出力

2 住宅デザイン、空間デザインの授業に広く活用されています

住宅デザイン、空間デザインを繰り返し検討することができるので、デザイン、イメージ力を養うことができます。



● 大牟田学園大牟田高等学校 生徒作品

3 プレゼンテーション力を養えます



● プレゼンボード機能で資料を作成し学習発表に利用

4 大工さんが作った3DCGムービーで学習する
「構造学習教材」附属



木造軸組構造・和室の構造
屋根の種類・階段・継手(木材の接合)

3DマイホームデザイナーPRO9EX なら

■床編集機能

段差やスロープの設定、小上がり・掘りごたつの表現が可能。

■天井編集機能

飾り縁やコーブ照明付きの折り上げ天井、勾配天井、天窗、コーニス照明の設定が可能。



■モルディング装飾

壁面の上部と下部に化粧線を設定が可能。

■壁装飾

装飾用の開口、ニッチ、付け棚も設置が可能。



プロの現場でも使われています！

3DマイホームデザイナーPROは、大手ハウスメーカー、工務店、設計事務所など17000社以上の企業に導入されており、成約を勝ち取るためのプレゼンツールとして多くのプロフェッショナルユーザーから信頼されるツールとなっています。

学校向け住宅デザインソフトセット

3DマイホームデザイナーPRO9 スクールパック

ボリュームライセンス(1ライセンス)：標準価格 34,500円(税別)～

学校導入事例をご覧ください → <http://www.megasoft.co.jp/3d/school/pro9/>

使いやすいさと信頼性

メガソフト株式会社

〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-4-12梅田センタービル11階

TEL.06-6147-2780 FAX.06-6131-5081 <http://www.megasoft.co.jp>

お問い合わせはこちらまで → インフォメーションセンター TEL.06-6147-2780

受付時間：9:30～11:45 13:00～17:00
(土、日、祝祭日除く)

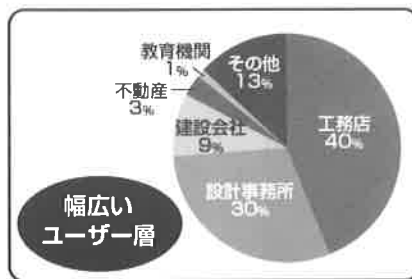
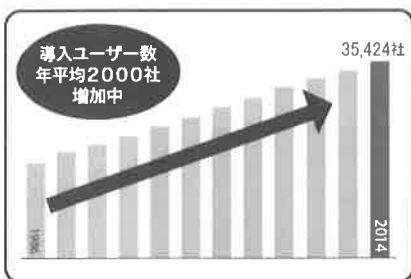


プランニングからプレゼン・申請まで一気通貫！ それがARCHITREND ZEROのフラグシップ



間取りや屋根等の基本データから、瞬時に3Dモデルを作成し、各種図面や書類、CGパースなどを一気に作成。
圧倒的なスピードと操作性で、使う方一人ひとりにフィットする、流れるような高速オペレーションを実現します。

業界の動き、ユーザーニーズに応え、常に進化し続けるCAD、福井コンピュータの「ARCHITREND」シリーズ



■300以上の公共・教育機関で活躍

全国の公共・教育機関で、CAD実習の教材としても、幅広く導入いただいております。専用CADの高度な専門性と使いやすさは、学ぶ方の学習意欲向上にもつながり、社会の即戦力となるスキルを身につける抜群のツールとなっています。

■万全のサポート体制

全国を網羅する30ヶ所の営業拠点に、各都道府県専任担当者を配置。地域未着型の充実サポートをご提供いたします。

全国
30拠点



■導入実績全国35,000社、ユーザー様の声を製品に反映

ARCHITRENDシリーズは、工務店・設計事務所のユーザー様を中心に、建築CAD市場ではトップシェアの全国35,000社、累計60,000本の導入実績を誇っています。また、その実績を元に幅広くユーザー様からの声を集約し、商品開発に反映。常に業界にとってより良い製品開発を心掛け、販売を行っております。

無料体験版あります！

●体験版ダウンロード/資料請求は

福井コンピュータ

検索

archi.fukuicompu.co.jp

福井コンピュータアーキテクト株式会社

■本社 福井県坂井市丸岡阿磯部福庄5-6

札幌 盛岡 仙台 新潟 長野 埼玉 高崎 水戸 宇都宮 千葉 東京 横浜 静岡 名古屋 岐阜 福井 京都 神戸 大阪 高松 岡山 岡山 広島 山口 福岡 大分 熊本 鹿児島 宮崎 沖縄

●製品に関するお問合せは[カスタマサポートセンター]

0570-550-291

上記ナビダイヤルは福井県坂井市に専用し、県内各地までの通話料はお客様のご負担となります。また、通話料金につきましてはマイラインの登録に関わらず、NTTコミュニケーションズからの請求となります。携帯電話からのご利用の場合は20秒ごとに10円の通話料がお客様の負担となります。

建築・土木・造園業界へ直結!

国家資格

- 一・二級建築士受験資格
- 一・二級建築施工管理技士受験資格
- 一・二級土木施工管理技士受験資格
- 一・二級造園施工管理技士受験資格 (ほか)



最新の建築技術やスマート技術も学べる「スマートハウス実習棟」(八王子校)



今話題の3Dプリンター・スキャナーなどを備えた先端3D制作室(八王子校)

一級建築士をめざす

建築学科(4年制)※

高度専門士

放送大学

建築設計コース / インテリア設計コース / 建築構造・設備コース / 建築施工コース

二級建築士をめざす

建築設計科(2年制)※

建築設計コース / インテリア設計コース / 建築構造・設備コース / 建築施工コース

土木・造園技術者をめざす

土木・造園科(2年制)※☆

機械設計技術者をめざす

機械設計科(2年制)

※職業実践専門課程認定学科
☆八王子校のみ設置



浦田校



八王子校

楽しく学んで、しっかり就職。

日本工学院

日本工学院専門学校

☎ 0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

日本工学院八王子専門学校

☎ 0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1



クリエイターズカレッジ デザインカレッジ ミュージックカレッジ ITカレッジ テクノロジーカレッジ 医療・保育カレッジ スポーツカレッジ

■URL <http://www.neec.ac.jp/> ■Eメール info@neec.ac.jp

確実な
就職・デビューへ!
「専門力」
+
「人間力」

クリエイターズカレッジ

プロデューサー、カメラマン、声優、俳優、舞台スタッフ、マンガ家、アニメーター、ゲームプログラマー、CGデザイナーをめざす。

- ◎ 放送芸術科 *
- ◎ 声優・演劇科
- ◎ 演劇スタッフ科
- ◎ マンガ・アニメーション科四年制 ※◆
マンガ/アニメーション/キャラクターデザイン/
マンガ・アニメビジネス☆コース
- ◎ マンガ・アニメーション科 *
- ◎ ゲームクリエイター科四年制 ※◆
ゲームプログラマー/ゲームプランナー/
ゲームCGデザイナー/ゲームビジネス☆コース
- ◎ ゲームクリエイター科 *
- ◎ CG映像科(3年制)

ITカレッジ

システムエンジニア、プログラマー、ネットワークエンジニア、セキュリティエンジニアをめざす。

- ◎ ITスペシャリスト科(4年制) ※◆*
- ◎ 情報処理科 *
- ◎ パソコン・ネットワーク科 *
- ◎ 情報ビジネス科 *

デザインカレッジ

グラフィックデザイナー、Webデザイナー、インテリアデザイナー、プロダクトデザイナーをめざす。

- ◎ グラフィックデザイン科(3年制) *
- ◎ Webクリエイター科(3年制)
- ◎ インテリアデザイン科(3年制)
- ◎ プロダクトデザイン科(3年制)

テクノロジーカレッジ

ロボット技術者、電子・電気技術者、バイオ技術者、自動車整備士、建築士、土木技術者、CAD技術者をめざす。

- ◎ ロボット科 *
- ◎ 電子・電気科 *
- ◎ 一級自動車整備科(4年制) ※◆*
- ◎ 自動車整備科 *
- ◎ 環境・バイオ科 *
- ◎ 応用生物学科 *
- ◎ 建築学科(4年制) ※◆*
- ◎ 建築設計科 *
- ◎ 土木・造園科 *
- ◎ 機械設計科

ミュージックカレッジ

ミュージシャン、コンサートスタッフ、レコーディングエンジニア、ダンサーをめざす。

- ◎ ミュージックアーティスト科
プレイヤー/ヴォーカリスト/サウンドクリエイターコース
- ◎ コンサート・イベント科 *
- ◎ 音響芸術科 *
- ◎ ダンスパフォーマンス科

医療・保育カレッジ

医療事務スタッフ、鍼灸師、柔道整復師、臨床工学技士、保育士、幼稚園教諭をめざす。

- ◎ 医療事務科 *
- 医療事務/診療情報管理士☆コース
- ◎ 鍼灸科(3年制) *
- ◎ 柔道整復科(3年制) *
- ◎ 臨床工学専攻科一年制
- ◎ こども学科 *
- 保育士/幼稚園教諭・保育士コース

スポーツカレッジ

トレーナー、インストラクター、スポーツマネジメント、サッカー・テニスプレイヤーをめざす。

- ◎ スポーツトレーナー科三年制 *
- ◎ スポーツトレーナー科 *
- ◎ スポーツ健康学科三年制 *
- ウェルネスインストラクター/スポーツインストラクター/
スポーツビジネスコース
- ◎ スポーツ健康学科 *
- ウェルネスインストラクター/スポーツインストラクター/
スポーツビジネス/サッカー/テニスコース

☆2017年4月新設 *職業実践専門課程認定学科
※高度専門士付与学科 ◆編入制度あり
●日本工学院専門学校設置 ◎日本工学院八王子専門学校設置

オープンキャンパス+体験入学 開催中!

蒲田キャンパス



創立70周年記念奨学金設立

学園創立70周年を記念して、返済不要の各種奨学金プランを用意しています。



八王子キャンパス



日本工学院

www.neec.ac.jp

日本工学院専門学校

☎0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

日本工学院八王子専門学校

☎0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1

Facebook: 日本工学院 | Line: @nihonkougakuin | Twitter: @neec_official | Instagram: nihonkogakuin

姉妹校 日本工学院北海道専門学校 併設校 東京工科大学 日本工学院を卒業後、併設校の東京工科大学へ有利に編入できる制度があります。

建築業界に直結した6学科10コースで 「可能性」を「可能」にする専門学校



学校法人 中央工学校

中央工学校 OSAKA

丹下健三氏、

沖種郎氏が手掛けた

斬新な校舎で学ぶ



過去3年間 (2012年度～2014年度卒業生)

就職率 **100%**

2015年度実績

1人平均1つ以上

資格取得率 **145.5%**

職業実践専門課程

卒業と同時に二級建築士受験資格取得

◆ 建築学科 (2年)

◆ 建築CGデザイン科 (2年)

◆ 住宅デザイン科 (2年)

◆ 建築学科 (夜間部) (2年)

◆ インテリアデザイン科 (2年)

在学中に二級建築士受験

◆ 研究科 (1年)

〒561-0872 大阪府豊中市寺内一丁目1-43 TEL: 06-6866-0800

☎ 0120-08-1143

URL: <http://chuoko-osaka.ac.jp/>



中央工学校

105年を超える伝統と実績！
こんな時代でも就職を勝ち取る！

建築・木造・設備・室内・インテリア

◀ 建築関連学科 News ▶

平成27年 一級建築士試験『設計製図の試験』学校別合格者数発表

平成27年一級建築士試験『設計製図の試験』

学校別合格者数一覧が公開されました。

専門学校では6年連続（平成22年～27年）トップの合格実績でした。

※平成22年以前は、専門学校の発表は無し。



| 順位 | 学校名 | 合格者数 | 順位 | 学校名 | 合格者数 |
|----|----------------|------|----|--------------|-----------|
| 1 | 日本大学 | 225 | 21 | 名古屋工業大学 | 39 |
| 2 | 東京理科大学 | 132 | 22 | 東京大学 | 36 |
| 3 | 早稲田大学 | 99 | 23 | 千葉大学 | 35 |
| 4 | 芝浦工業大学 | 78 | 23 | 広島工業大学 | 35 |
| 5 | 近畿大学 | 73 | 25 | 東海大学 | 34 |
| 6 | 工学院大学 | 66 | 26 | 東洋大学 | 33 |
| 7 | 明治大学 | 54 | 26 | 三重大学 | 33 |
| 8 | 神戸大学 | 51 | 28 | 熊本大学 | 32 |
| 9 | 京都大学 | 47 | 28 | 横浜国立大学 | 32 |
| 10 | 京都工芸繊維大学 | 46 | 30 | 福岡大学 | 31 |
| 11 | 金沢工業大学 | 45 | 30 | 北海道大学 | 31 |
| 11 | 関西大学 | 45 | 32 | 大阪大学 | 30 |
| 11 | 法政大学 | 45 | 32 | 東京工業大学 | 30 |
| 14 | 大阪工業大学 | 44 | | | |
| 15 | 神奈川大学 | 43 | 34 | 中央工学校 | 29 |
| 15 | 九州大学 | 43 | 34 | 名古屋大学 | 29 |
| 17 | 東京電機大学 | 40 | 36 | 鹿児島大学 | 27 |
| 17 | 東京都立大学（武蔵工業大学） | 40 | 36 | 千葉工業大学 | 27 |
| 17 | 名城大学 | 40 | 38 | 大阪市立大学 | 26 |
| 17 | 広島大学 | 40 | 38 | 信州大学 | 26 |

資格試験に挑戦！チャレンジプロジェクト！

中央工学校の建築関連学科では、「チャレンジプロジェクト」と銘打ち、資格の重要度に応じてポイントをもうけ、在学中に取得するためのバックアップ作戦で、資格取得を支援します。学生たちは技術だけではなく資格取得にも積極的にチャレンジしています。

◀ 建築・インテリア関連学科 ▶

| | | | | | |
|-------|-----|---------|-----|------------|-----|
| 建築学科 | 4年制 | 木造建築科 | 2年制 | 建築室内設計科 | 2年制 |
| 建築工学科 | 3年制 | 建築設備設計科 | 2年制 | インテリアデザイン科 | 3年制 |
| 建築設計科 | 2年制 | 夜間 建築科 | 2年制 | インテリア科 | 2年制 |

土木・測量・造園・舞台美術・イベント設営・機械・CAD・スポーツ

※土木・測量関連学科では、卒業と同時に測量士補無試験取得学科あり

- 〒114-8543 東京都北区王子本町一丁目 26-17
- TEL : 03-3905-1511 (入学相談室)
- PC : <http://chuoko.ac.jp> (携帯からもアクセス可)
- Mail : info@chuoko.ac.jp



中央工学校の
オフィシャルHPに
アクセスできます。
資料請求や学校説明会・
体験入学の申込可能



中央工学校の公式アプリが
誕生しました！
最新の学校情報がいつでも
更新できます。



専門学校 **コンソーシアム Tokyo** 加盟校
the consortium of colleges in Tokyo

<http://www.senmon-con-tokyo.jp/>



職業能力開発短期大学校

東京建築カレッジ

〒170-0014 東京都豊島区池袋 1-8-6 Tel 03-5950-1771、Fax 03-5950-1774

資料請求&学校見学 大歓迎！ 授業は毎週金曜・土曜日です。

働きながら学ぶ、木造建築の技と知恵。

学校説明会 2017年4月入学生

第4回 1月25日(水)

①午後2時から ②午後7時から

入学選考試験 2017年4月入学生

第4回 2月8日(水)

午前10時から午後3時 書類選考及び面接・作文・他



1年次の後期に、伝統構法も学べる2階建て実習棟を上棟します。感動の体験です。

「技能士」「建築士」資格取得の近道！

東京建築カレッジは、「職業能力開発促進法」に基づく厚生労働省所管の短期大学校です。建築技術技能の向上と後継者育成を目的に、1996年、ドイツのマイスター制度をモデルに設立しました。授業は毎週金曜・土曜。卒業までの2年間に、実技と学科合わせて、約2900時間の高度職業訓練カリキュラムを履修します。

在学中に実施する技能照査試験に合格すれば、修了時に「技能士補(建築大工)」を授与し、「2級技能検定(建築大工)」の受験資格(学科試験免除)を取得。建築士指定科目をすべて履修すれば、修了時に「木造建築士」、「二級建築士」の受験資格を取得。修了後4年の実務経験で「一級建築士」の受験資格を取得できます。



募集要項やアクセスMAPは公式ウェブサイトにも、facebookもチェック！
ネット検索のキーワードは、「東京建築カレッジ」

工業高校生向け 建設業界研究セミナー (無料)

総合資格学院では、工業高校生向けに「建設業界研究セミナー」を出張開催しております。建設について学ぶ貴校生徒の皆様に「建設業界で働くイメージ」を持っていただき、夢を叶えてもらうためのセミナーです。建設業界の魅力について説明します。

内容

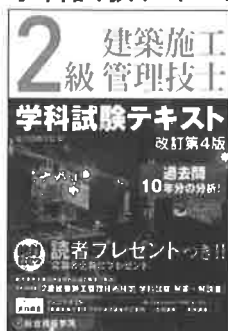
- 働くとは
- 学生と社会人の違い
- 進路選択(進学・就職)
- 建物ができるまで
- 建設業界にはどんな会社があるか
- 建設業界の仕事内容・職種
- 他、上記以外にもご要望に応じます

2級建築施工管理技士 学科試験合格支援

- ① 学科模擬試験(無料) 模擬試験開催、採点、個人成績分析票発行まで行います。
- ② 合格ガイダンス(無料) 資格試験の概要や最新傾向、学習方法などをご説明します。

2級建築施工管理技士 学科試験対策

■学科試験テキスト



定価：2,700円(税込)

【数少ない2施工の定番テキスト】

- ・過去問10年分に基づいた詳細解説。
- ・用語解説や出題履歴を掲載。
- ・写真やイラスト、図表を多用して解説。
- ・読者プレゼント付き。

■学科・実地 問題解説



定価：1,836円(税込)

【解答・解説が取り外せる!】

- ・過去5年分の学科&実地を掲載。
- ・図や表を使って、わかりやすい解説。
- ・2色刷り。
- ・応募者全員にプレゼント付き。

お申込み・問合せ 連絡先

E-mail : kenchiku@shikaku.co.jp TEL : 03-3340-2812

株式会社総合資格 学校法人課 〒163-0557 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 22F

 **総合資格学院**

全国工業高等学校長協会・対象
ジュニアマイスター顕彰制度 資格

建築CAD検定試験は、CADの操作技能レベルを客観的に判断し社会に証明するもので、全国500を越す教育機関で採用される日本最大規模のCAD実技検定試験です。
また、ジュニアマイスター顕彰制度の対象にもなっており、高校生の受験も昨年は2,897名に上り、ここ数年も増加傾向にあります。

試験はすべて実技試験で、准1級はCADの経験に加え、図面完成までの「スピード」と「感性」が問われ、社会での即戦力者として認定されるレベルとなっています。
2・3・4級は一定の建築知識をもとに与えられた条件のもと建築一般図を完成させる、あるいは課題図面を正確にトレースするなどCADのエキスパートとして認定されます。

今や65,000余名の有資格者が社会の第一線で活躍しており、年々CAD技術者のニーズが増え続けているなか、当試験に対して有能な人材確保を目指す多くの産業界からも熱い注目を集めています。

ジュニアマイスター顕彰制度の得点

| 准1級 | 2級 | 3級 | 4級 |
|-----|-----|----|----|
| 20点 | 12点 | 4点 | 2点 |

※「平成27年度前期区分表」より

掴めるか未来を。

建築CAD検定試験 実施概要

受験方法

団体受験

試験日

1・4・7・10月(年4回)

※准1級は10月のみ

受験会場

全国の教育機関にて実施

一般受験

4・10月(年2回)

全国主要都市の認定会場にて実施

※各回毎に異なりますので願書にてご確認ください。

平成27年度の優秀賞受賞校(高校の部)

- 最優秀団体賞/《3級》 東京都立工芸高等学校(第60回)、長野県南安曇農業高等学校(第63回)
《4級》 長崎県立大村工業高等学校(第61回)、北海道釧路工業高等学校(第62回)
北海道帯広工業高等学校(第63回)
- 優秀団体賞/《3級》 新潟県立上越総合技術高等学校(第60回)、埼玉県立春日部工業高等学校(第62回)
山梨県立笛吹高等学校(第63回)
《4級》 東京都立工芸高等学校(第60回)、秋田県立大曲工業高等学校(第61回)
岩手県立水沢工業高等学校(第61回)、和歌山県立和歌山工業高等学校(第62回)
北海道室蘭工業高等学校(第63回)、山梨県立笛吹高等学校(第63回)

◆試験の詳細についてはホームページをご覧ください <http://www.aacl.jp>



主催

一般社団法人
全国建築CAD連盟 試験センター

(本部) 〒461-0008 名古屋市東区武平町5-1 名古屋栄ビルディング7階
TEL. 052-962-5544 / FAX. 052-962-5570 [E-mail] info@aacl.jp

東京都知事認定

株式会社 鈴木組 ・ 鈴木職業訓練校



『とびを架設工^{たか}に変える！！』

当社は建設業専門業種 鷹の職人の会社です。平成 6 年東京都知事認定職業訓練校「建築施工系とび科」を開校し、現在 23 期生の新卒者（高校・大学・専門学校）が入社して 1 年間訓練校にて、座学・実技の授業（訓練）を受け 2 年目から現場で活躍出来る様、取得可能な玉掛技能講習・クレーン運転 5 t 未満特別教育・研削といし特別教育の資格取得をしています。

訓練校での授業内容

計 1600 時間

| | | | | | |
|----|-------|--------|----|-------|--------|
| 学科 | 普通学科 | 24 時間 | 実技 | 系基礎実技 | 180 時間 |
| | 系基礎学科 | 332 時間 | | 専攻実技 | 876 時間 |
| | 選考学科 | 188 時間 | | | |

【最近の主たる当社施工実績】

- 新タワー(東京スカイツリー) H24.4 竣工
- パレスホテル H24.4 竣工
- ロジポート相模原 H25.8 竣工
- イオンモール幕張 H25.12 竣工
- 虎の門ヒルズ(環二)H26.4 竣工
- 新宿駅新南口ビル及びバスタ新宿 (バスターミナル) H28.3 竣工 他



富士教育訓練センターでの鉄骨建方実習

株式会社鈴木組（本社）

〒113-0022 東京都文京区千駄木 3-43-3

電話：03-3822-1785 FAX：03-3822-1787

鈴木職業訓練校

〒121-0012 東京都足立区青井 4-44-20 電話/FAX：03-5681-1833

建築設計・製図CAD

DRA-CAD15

スムーズな情報伝達により、スマートな業務連携を実現する

DRA-CADは、直感的な操作性と高いカスタマイズ性で設計者に応える
国産の建築設計CADです。

建築の企画から生産、運用までのあらゆる場面を強力に支援します。

学生個人向けの学生版、教育機関用の教育版も販売中です。

》設計支援



日影・天空率計算や、面積表、採光計算、
構造図作成コマンドも標準装備。

》操作性

直感的な操作を可能にする、画面デザ
イン、メニュー構成でスマートに操作。

》互換性

PDF入出力をはじめ、AutoCAD(DWG/
DXF)やJw_cad(JWW/JWC)との互
換性に優れている。さらに、BIMや
SketchUpのデータも利用可能。

3次元建築設計システム

i-ARM

国産シンプルBIM

建築設計の初期段階で各種検討と確
認が行えるシンプルBIM。

簡単な入力で3次元建物モデルが作
成でき、多彩なビジュアル表現で設
計情報を確認できます。

また、外部のさまざまなモデルデー
タを取り込むことができ、構造シス
テム・グループの各種ツールと連携
できる、3次元の設計ツールです。



 株式会社 **建築ピボット**
(構造システム・グループ)
<http://www.pivot.co.jp/>

本社営業 〒112-0014 東京都文京区関口2-3-3 TEL 03-6821-1691 FAX 03-5978-6215

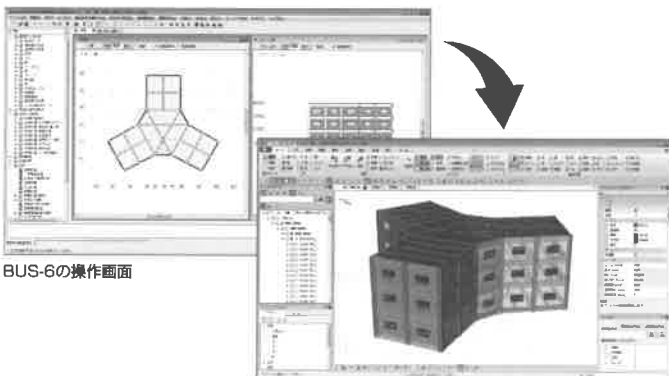
大阪支社 06-6232-0760 札幌営業所 011-218-6628 仙台営業所 022-267-2811 名古屋営業所 052-583-0350 福岡営業所 092-716-9311

高速な解析処理とBIMデータ連携

RC/SRC/S造建物の高機能一貫構造計算

BUS-6

BUS-6は、建築基準法、各種基準類に準拠し、
構造設計をトータルサポートする構造計算ソフトです。
教育版価格は別途お問い合わせください。



BUS-6の操作画面

BIMソフト 例：「i-ARM」(株式会社建築ピボット)の操作画面

「2015年版 建築物の構造関係技術基準解説書」対応
対応状況は弊社HPをご覧ください。

》計算機能

Windows 64ビット版対応とマルチスレッド処理に
より計算を高速化し大規模建物へも対応できます。

》計算結果の複数保存

入力データの計算条件を変更した計算結果を複数保存
でき、それぞれの計算結果を表示して比較できます。

》BIMデータ連携

BUS-6はBIMソフトへST-Bridge、IFC形式*ファイル
により建物形状データを転送することができます。
構築した建物形状データを有効に活用できます。

*ST-Bridge、IFCはBIMの標準データフォーマットです。

 株式会社 **構造システム**
URL <http://www.kozo.co.jp/>

本社営業 〒112-0014 東京都文京区関口2-3-3 TEL 03-6821-1311 FAX 03-5978-6215
大阪支社営業 〒541-0041 大阪市中央区北浜1-1-10 TEL 06-6203-2430 FAX 06-6203-4117
札幌営業所 TEL 011-218-6628 仙台営業所 TEL 022-267-2811 名古屋営業所 TEL 052-583-0350 福岡営業所 TEL 092-716-9311

教職員の皆様!

全国の工業高校で多数使われている、資格合格への必携テキストをご案内します。

おかげさまで平成27年度 5000冊突破!

2級建築施工管理技士 学科テキスト

全面カラーで構成された「目で見て覚える受験テキスト」です。過去の本試験問題を中心とする長年の蓄積されたデータを基に徹底分析し、学科試験受験対策用教材としてまとめたものです。

- ・はじめに、目次、試験問題の構成
- ・第1章 施工・共通
- ・第2章 施工管理法
- ・第3章 法規
- ・第4章 建築学
- ・第5章 実地

全面カラー
目で見て覚える
受験テキスト!



*画像は過年度のものです。

2級土木施工管理技士 学科テキスト

試験に合格することを第一の目標に、過去の試験問題を徹底的に分析し、最も効率よく理解・記憶ができるように編集しています。NOTE欄に、出題頻度・ポイント・用語・注意・参考等を記載したわかりやすいテキストです。

- ・はじめに、目次
- ・第1章 土木一般
- ・第2章 共通工学
- ・第3章 法規
- ・第4章 施工管理
- ・第5章 専門土木

試験に合格の
エッセンスを
凝縮!



*画像は過年度のものです。

2級土木施工管理技士 マンガ基本テキスト

土木の内容をあまり理解していない人や、はじめて土木の勉強をしようとしている人のための、目で見て学習できる、わかりやすいテキスト。難しい用語や理解し難い内容も、楽しく読むことで、理解力はアップ!

- ・はじめに、目次
- ・第1章 土木一般
- ・第2章 専門土木
- ・第3章 法規
- ・第4章 共通工学
- ・第5章 施工管理

ついに解禁!



*画像は過年度のものです。

日建学院

お問い合わせは、お近くの日建学院か、下記、法人部学校担当までお気軽にどうぞ。
(株)建築資料研究社(日建学院) / 営業本部 法人部学校担当

TEL.03-3988-4711

1級建築士 合格実績 No.1

1960~2013年累計 | 合格率: 11.9810人 / 2級合格率: 196.033人 累計

若年者入職促進に係る 広報活動のご紹介

団体、行政
企業等が提供する
建設業への入職を
応援する情報を
発信

建設現場へGO!

一見る、知る、働く、建設産業のポータルサイトー
若年者の入職促進等に資する様々なコンテ
ンツを集約し、若年者やその保護者、教育関
係者等が建設産業を知る際のポータルサイ
トとして情報を提供!

<http://genba-go.jp/>

建設現場へGO

検索

建設業
の紹介



建設業で働くための 18歳のハローワーク

現場で働く先輩へのインタビュー、
工事や職種を詳しく紹介

建設現場における工事の種類や
職種、実際に働く技術者(監督)や
技能者(職人)を紹介。就職に向け
た手がかりとなる情報を発信!

シゴト
の紹介



<http://genba-go.jp/18hellow/>

建設現場見学会、 出前講座の開催応援団

現場見学会の開催を支援する団体、
行政機関などを紹介

地域において、子どもや保護者を対象とした建
設現場見学会・出前講座等が開催されています。
本サイトでは、これらを開催する団体やオーダ
ーメイドにより開催を支援する団体等を紹介!

http://genba-go.jp/doc/content_2015_0070.pdf

現場
見学会



建設産業で働く 女性がカッコイイ

建設現場で活躍する女性や
応援する企業などを広く紹介

建設産業で働き活躍している女性や、
女性の入職を応援する企業等を紹介!

<http://genba-go.jp/know/woman/>

女性
の活躍



ご登録
ください!

上記、4つのサイトが更新された際、メールにて更新内容を通知しています。
ご希望の方は、以下のURLよりメールアドレスのご登録をお願いします!

<https://secure.kensetsu-kikin.or.jp/ninaite/db/mail/>

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム / 建設産業人材確保・育成推進協議会 / 建設産業戦略的広報推進協議会

一般財団法人
建設業振興基金

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館6階

お問い合わせ

03-5473-4572

